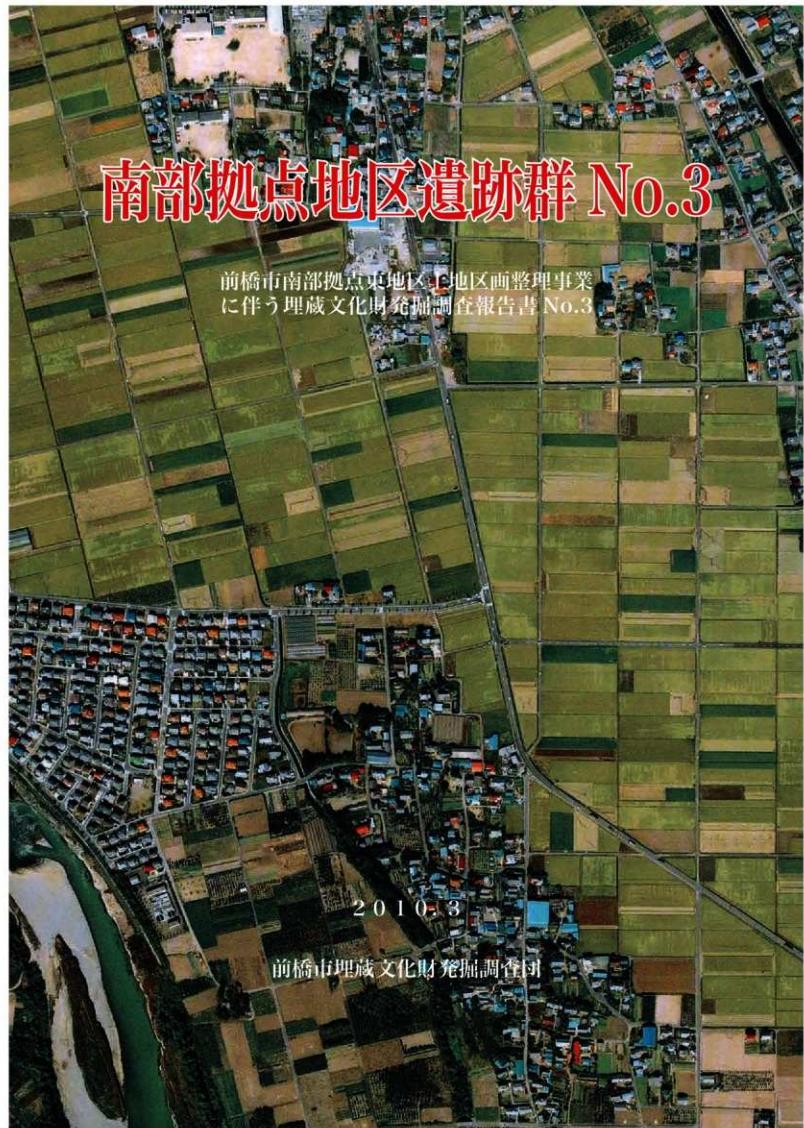


南部拠点地区遺跡群 No.3

前橋市南部拠点東地区上地区画整理事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 No.3

2010.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査会



南部拠点地区遺跡群 No.3

前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 No.3

2010.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

卷首図版 1



調査区を南から望む。中央の道路は前橋玉村線、奥に北関東自動車道路が見え、調査区は手前が11区、奥の人家の手前に10区が見える。



浅間Bテフラ下の水田跡（9区全景）

卷首図版 2



浅間B テフラ下の水田跡（10区 A 全景）



浅間B テフラ下の水田跡（10区 B・C 全景）



浅間B テフラ下の水田跡（10区 D 全景）



浅間Bテフラ下の水田跡（11区A全景）



浅間Bテフラ下の水田跡（11区B全景）



浅間Bテフラ下の水田跡（11区C全景）

卷首図版 4



浅間B テフラ下の落込み範囲（12区南全景）



浅間C テフラ下の調査状態（13区11トレンチ）



浅間C テフラ下の調査状態（13区12トレンチ）



浅間C テフラ下の調査状態（13区13トレンチ）



浅間B テフラ下の水田跡（14区全景）

は じ め に

前橋市は関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情にあふれる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前の旧石器時代から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感じることのできる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋の地は、800余りの古墳が存在していたように、上毛野の国の中心地として栄え、また、続く律令時代になってからは總社・元總社地区に山王庵寺、上野国分僧寺、上野国分尼寺、上野国府など重要な施設が次々に造されました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東四名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担うなど、まさに、歴史性豊かな街です。

南部拠点地区遺跡群No.3は、市の南東部に位置し、前橋南インターチェンジ一帯の土地区画整理事業に伴う道路建設に先立つ事前発掘調査です。調査の結果、平安時代の天仁元年（1108年）の浅間山噴火に伴う軽石に覆われた水田跡が発見されました。本水田跡は、高崎市日高遺跡に代表される日高条里との関連が考えられ、前橋・高崎大地に広く展開する貴重な条里制遺構です。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、炎天下や湧水の中で直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成22年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

団長 戸塚 良明

例　　言

- 1 本報告書は、前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴って実施した、南部拠点地区遺跡群No.3の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地 群馬県前橋市鶴光路町112-2ほか
- 3 調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 戸塚良明）の指導のもとに委託者 前橋市南部拠点東地区土地区画整理組合（理事長 持田頼男）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永眞弘）が実施した。
調査担当者 神宮聰・須藤健夫・塙坪丈夫・丸山展久（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
荻野博巳・金子正人（スナガ環境測設株式会社）
- 4 発掘調査期間 平成21年7月21日～平成21年12月9日
整理期間 平成21年12月10日～平成22年3月19日
- 5 調査面積 10,140m²（1面B テフラ下水田跡調査6,940m²、2面C テフラ下水田跡検出3m幅トレンチ調査2,460m²、12区・14区補足調査2ヵ所740m²）
- 6 調査にかかる図面・写真・出土遺物等は、前橋市教育委員会が保管する。
- 7 調査・測量計画を須永眞弘（測量士第52614号）、調査指導・安全管理を金子正人、基準点測量を権田友寿・黒田、遺構記録作図、佐々木、星野陽子、矢島、石川、内山、高林、遺構調査・遺構遺物写真を荻野、作業事務を須永農が担当した。
- 8 本書は、調査団指導のもと、スナガ環境測設㈱が作成に当たり、原稿執筆…Ⅰについては神宮、その他は荻野が担当した。また、編集・校正を須永・金子、図書の編集・版下作成・トレース・遺物実測他は荻野・大谷・佐々木・星野、内業事務を須永が担当した。
- 9 発掘調査に参加した方々（敬称略）
長澤俊男 松井道男 諸伊敦壽 中野光雄 北爪一郎 菊川毅 黒田雄司 佐々木智恵子 星野陽子
石川きわ子 内山恵美子 品川浪江 高林操 矢島義秋 中村昌博 星野三恵子 下田弘 武井知司
吉田宣政 菊川勝 岩崎寿子 神沢八起 大谷元夫

凡　　例

- 1 遺跡の略称は、(21G65)である。
- 2 遺構名の略称 溝跡…W、土坑…D、ピット…P、実測図中の記号 S…石
- 3 実測図の縮尺は、次のとおりである。
遺構平面図 (1/100・1/400)、遺構断面図 (1/60)、遺物実測図は1/3・1/5を使用した。
- 4 掘図に国土地理院発行の2万5千分の1「前橋」を使用した。
- 5 本文中の計測値については〔 〕検出値、現存値、() 推定値を表す。その他はその都度表した。
また、トレンチはトレンチを表し、As-B 水田平面図中の畦畔番号には、() を付けて表した。
- 6 土層断面の土色名及び土器類の色調名は、「新版標準土色帖」（農林省農林水産技術会議事務局監修 財團法人日本色彩研究所 色票監修）による。
- 7 土層注記及び本文中には、1783年降下浅間山起因のテフラの略称を As-A、1108年降下浅間山起因のテフラの略称を As-B、6世紀中葉榛名山起因のテフラの略称を Hr-FP、6世紀初頭榛名山起因のテフラの略称を Hr-FA、4世紀初頭降下浅間山起因のテフラの略称を As-Cとして使用した。
- 8 土層注記中の祐は粘性、縛は縛まりとし、強・中・弱・なしの4段階に区分した。

目 次

はじめに	
I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と歴史的環境	1
1 遺跡の立地	1
2 歴史的環境	1
III 調査の方針と経過	5
1 調査方針	5
2 調査経過	5
IV 層序	6
V 調査の概要	7
VI 検出された遺構と遺物	7
1 古墳時代、平安時代、中・近世の調査	7
(1) 9区1面、9区2面1トレンチ	7
(2) 10区1面A・B・C・D、10区2面2・3・4トレンチ	10
(3) 11区1面A・B・C、11区2面5・6・7トレンチ	17
(4) 12区1面、12区2面8・9トレンチ	22
(5) 13区2面11・12・13トレンチ	25
(6) 14区1面、14区2面14トレンチ	25
VII まとめ	30
1 浅間Bテフラ下の水田と条里制について	30
2 喰畔上の石について	31

挿 図

第1図 周辺遺跡図	3	第10図 11区B 1面、2面6トレンチ実測図	20
第2図 遺跡位置図(現形前橋市都市計画図)	4	第11図 11区C 1面、2面7トレンチ実測図	21
第3図 遺跡位置図(昭和43年調整前橋市都市計画図)	4	第12図 12区、1面8トレンチ、2面8・9トレンチ実測図	23
第4図 基本土層断面図	6	第13図 12区1面9トレンチ実測図	24
第5図 9区1面、2面1トレンチ実測図	9	第14図 13区2面11~13トレンチ、14区1面、2面14トレンチ実測図	27
第6図 10区A 1面、2面2トレンチ実測図	14	第15図 9区~12区、14区1・2面出土遺物	29
第7図 10区B・C 1面、2面3・4トレンチ実測図	15	第16図 水田と条里制地耕図	32
第8図 10区D 1面実測図	16		
第9図 11区A 1面、2面5トレンチ実測図	19		

表

第1表 周辺遺跡概要一覧表	2
第2~6表 9区1面、2面1トレンチ	8
第7~10表 10区1面A・B・C・D、2面2・4トレンチ	10~13
第11~15表 11区1面A・B・C、2面5トレンチ	17・18
第16~18表 12区1面、12区1面8・9トレンチ	22
第19~25表 12区2面9トレンチ、13区2面13トレンチ、14区1面	25・26
第26表 出土遺物観察表	28

写真図版

卷首図版1 南部拠点地区遺跡群No.3調査区を南から望む、9区全景	
卷首図版2 10区A・B・C・D全景	
卷首図版3 11区A・B・C全景	
卷首図版4 12区南、13区11・12・13トレンチ、14区全景	
図版1 調査前全景、9区1面B水田全景(空撮)、B水田、畦畔上の石、馬の足跡列、W-1~3、焼夷弾跡、大畦畔全景	
図版2 9区2面W-1全景、9区2面1トレンチ全景、10区A 1面B水田全景(空撮)、B水田、大畦畔、畦畔上の石全景	
図版3 10区A 1面W-4、5全景、10区A 2面2トレンチP-5~10、10区A 2面2トレンチ全景、10区B 1面B水田、W-6~8全景、10区B 2面3トレンチ全景、10区B・C 1面B水田全景(空撮)	
図版4 10区C 1面B水田、大畦畔上の石、W-14、ピット、2面4トレンチ、10区D 1面B水田全景(空撮)	
図版5 10区D 1面B水田、W-18、19、大畦畔、大畦畔上の石、水口全景、11区A 1面B水田全景(空撮)、11区A 1面W-1、畦畔、11区A 2面5トレンチ全景	
図版6 11区A 2面5トレンチW-11、11区B 1面カクラン状況、11区B 1面B水田全景(空撮)、B水田、W-2、大畦畔、水口No.1、W-2~5全景	
図版7 11区B 1面W-6、11区B 2面6トレンチ、11区C 1面B水田全景(空撮)、B水田、大畦畔、11区C 2面7トレンチ全景	
図版8 12区1面全景(空撮)、12区1面全景、凹凸状況、W-2、3、谷地状の落ち込み、12区1面8トレンチ全景	
図版9 12区2面8トレンチ、12区2面9トレンチ落ち込みセクション、12区2面9トレンチ、D-1、2、P-4、6、12区9トレンチ、D-1遺物出土状況、D-2遺物出土状況、P-4遺物出土状況、13区2面11トレンチ全景	
図版10 13区2面12トレンチ、2面13トレンチ、14区1面B水田全景(空撮)、B水田、W-2、3、14区2面14トレンチ全景	
図版11 深掘りセクション全景、作業風景、調査区埋め戻し状況、9区、10区出土遺物	
図版12 10区~12区、14区出土遺物	

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴い実施された。

平成21年6月3日付で前橋市南部拠点地区土地区画整理組合（仮称）設立準備委員会 代表 持田頼男（平成21年8月11日付で前橋市南部拠点東地区土地区画整理組合に名称変更。以下「組合」という。）より埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団 団長 戸塚良明（以下「調査団」という。）に対し発掘調査の実施について協議を行った。しかし、調査団では既に直営による発掘調査を市内数ヶ所で実施しており、調査団直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託したいとの回答をした。民間調査組織の導入については、組合の合意も得られ、平成21年7月14日付で組合と調査団との間で発掘調査業務契約を締結し、その後、7月21日付で調査団と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社 代表取締役 須永真弘との間で発掘調査業務契約を締結し、発掘調査を開始した。なお、遺跡名称「南部拠点地区 遺跡群№3」（市遺跡コード：21G65）の「南部拠点地区」は区画整理事業名を採用し、数字の「№3」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

II 遺跡の位置と歴史的環境

1 遺跡の立地

本遺跡は、前橋市役所の南東約7kmに位置し、調査区は鶴光路町と新堀町にまたがる。北1.7kmには県道高崎駒形線が東西に走り、これと交差する県道前橋玉村線が東側を南北に走り、すぐ北側には北関東自動車道、東側には前橋玉村線バイパスが位置する。遺跡の周辺は、圓場整備により整然と区画された水田地帯が広がり、北には鶴光路町、南には新堀町、東には下阿内町の住宅街が形成されている。近年、前橋市の人口増加に伴うドーナツ化現象により、周辺地域は団地ができ宅地化が進み、大型店舗や工業団地の建設が相繼いでいる。

前橋市は地形的に区分すると、北東部の赤城火山斜面、南西部の洪積台地（前橋台地）、この両者に挟まれる形で位置する沖積低地（広瀬川低地帯）、および現利根川氾濫原の四地域からなる。本遺跡は、そのうちの前橋台地上にある。前橋台地は、前橋市街地を北端に南方向一带に広がる沖積平野で、前橋泥流堆積物層が形成された洪積世後期約24,000年前から利根川に浸食されずに沖積化が進んだ地域で、広瀬川低地帯より一段高い洪積層である。多少の起伏は見られるものの概ね平坦な土地である。この台地上には利根川をはじめいくつかの中小河川が流れ、小規模ながら氾濫原を形成している。本遺跡の東には端氣川が南流し、その東には藤川が流れる。端氣川は、広瀬川から分かれ9kmほど南下し、南部農耕地域の重要な用水である。

2 歴史的環境

本遺跡が所在する前橋南部地域では、近年北関東自動車道をはじめ多くの開発事業が実施され、それに伴う埋蔵文化財発掘調査も多数行われている。調査の結果、縄文時代から近世のものまで様々な遺構が検出されているが、旧石器時代の遺跡は発見されていない。

縄文時代には、草創期の微隆起線文土器や有尖舌頭器等が出土した徳丸仲田遺跡（48）、縄文中期後半の遺物が出土した村中遺跡（県事業団調査）（30）などがあり、生活の痕跡が希薄である。弥生時代に入って

もあり変わらず、巒島川端遺跡（県事業団調査）（10）で後期の堅穴住居跡が確認されている程度である。

古墳時代になると、遺跡数は増大する。広瀬川右岸の自然堤防上に位置する広瀬・朝倉古墳群には古墳時代の前期から後期にわたる大小150基ほどの古墳が存在する。前期では、古墳時代初頭期の前方後方墳である前橋八幡山古墳（4）、前方後円墳の前橋天神山古墳（5）があり、地域の盟主の墓と考えられている。集落も台地上の各地に営まれるようになる。後閑団地遺跡（7）、巒島川端遺跡（市調査団調査）（9）などがある。生産址も広範囲に行われるようになる。4世紀初頭降下と考えられるAs-C軽石に埋没した水田や、As-C軽石を耕作土に含む水田が西田遺跡（県事業団調査）（37）、村中遺跡（30）、徳丸仲田遺跡（48）、下阿内前田遺跡（45）などから検出されている。

後期の古墳としては、6世紀前半の帆立貝式古墳である龜塚山古墳、6世紀後半の前方後円墳で金銅製冠を出土した金冠塚古墳などがある。

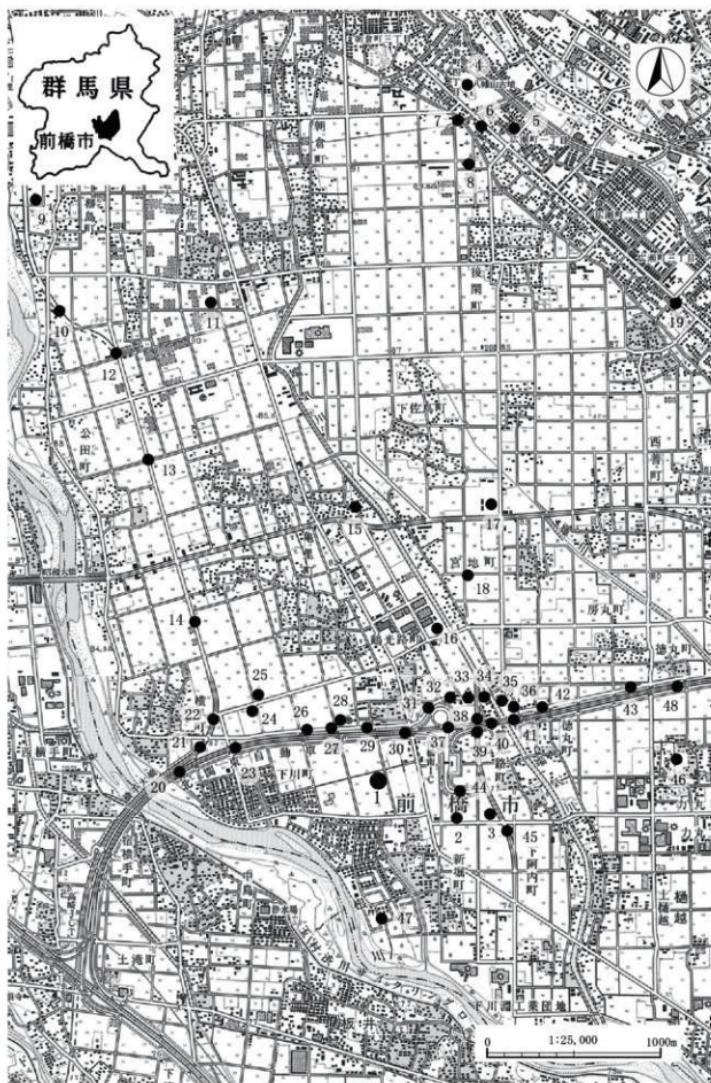
集落は後期に新しく開始される遺跡が多く後閑II遺跡（8）、西田遺跡（37）などがある。生産址は、6世紀初頭降下と考えられるHr-FAで埋没した水田跡や6世紀中葉降下と考えられるHr-FPで埋没した水田跡が各地で検出されており巒島川端遺跡（10）、横手湯田遺跡（県事業団調査）（23）、横手宮田遺跡（22）などがある。奈良・平安時代では、本遺跡周辺の低地部分のほとんどとの遺跡で平安時代後期の1108年に降下したAs-B軽石で埋没した水田跡が検出されている。南部拠点地区遺跡群No.1・2（2、3）、宮地中田遺跡（18）、鶴光路線引遺跡（28）、徳丸仲田遺跡（48）、横手湯田遺跡（23）、横手湯田II・IV・VI遺跡（26、29、27）、西田遺跡（市調査団調査）（39）、西田II遺跡（32）、村中遺跡（30）などがある。集落遺跡は、後閑団地遺跡（7）、後閑II遺跡（8）、西田遺跡（37）、西田II遺跡（32）、などから検出されている。

中世では、県教育委員会が実施した城郭分布調査によって、前橋南部地域に環濠遺構群の存在が多数確認されている。力丸城（46）、宿阿内古城（16）、宿阿内城（15）、新堀城（47）などがある。

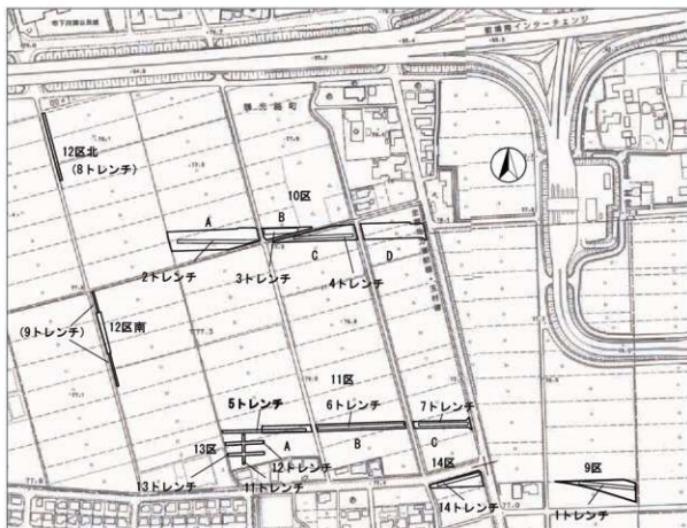
近世の遺構では、村中遺跡（30）で、埋土・出土遺物から近世に比定される環濠屋敷が、西田遺跡（37）から多数の土坑墓が確認されている。また、1783年（天明3年）噴火のAs-A軽石を処理した灰掘き穴等が、下阿内志町畠道遺跡（44）、下阿内前田遺跡（45）などから検出されている。

第1表 周辺遺跡概要一覧表

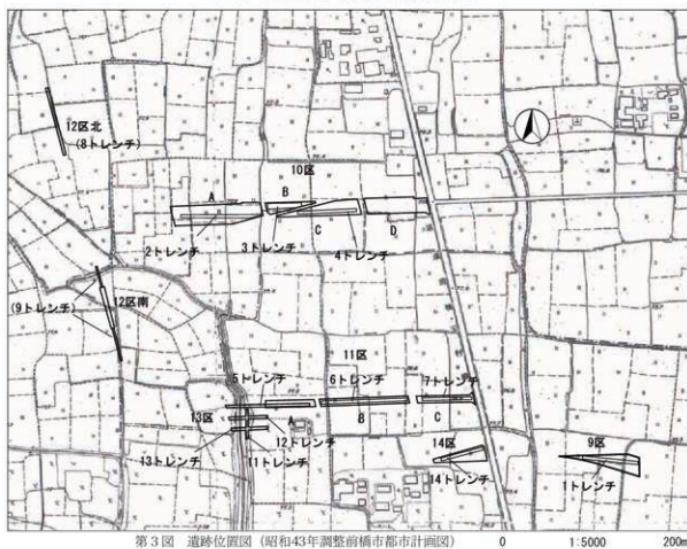
No	遺跡名	No	遺跡名	No	遺跡名	No	遺跡名
1	本遺跡	13	公田池尻遺跡	25	龜里鉢面遺跡	37	西田遺跡（県事業団）
2	南部拠点地区遺跡群No.1	14	龜里平塚遺跡	26	横手湯田II遺跡	38	西田IV遺跡
3	南部拠点地区遺跡群No.2	15	宿阿内城	27	横手湯田VI遺跡	39	西田遺跡（市調査団）
4	八幡山古墳	16	宿阿内古城	28	鶴光寺練引遺跡	40	鶴光寺桜橋遺跡
5	前橋天神山古墳	17	東田遺跡	29	横手湯田IV遺跡	41	徳丸高原遺跡
6	坊山遺跡	18	宮地中田遺跡	30	村中遺跡	42	徳丸高原遺跡II遺跡
7	後閑団地遺跡	19	木の宮遺跡	31	西田III遺跡	43	徳丸仲田遺跡
8	後閑II遺跡	20	横手南川郷遺跡	32	西田II遺跡	44	下阿内志町畠道遺跡
9	巒島川端遺跡（市調査団）	21	横手早稲田遺跡	33	西田VI遺跡	45	下阿内前田遺跡
10	巒島川端遺跡（県事業団）	22	横手宮田遺跡	34	鶴光寺櫻鶴II遺跡	46	力丸城
11	上佐島川原遺跡	23	横手湯田遺跡（県事業団）	35	徳丸高原III遺跡	47	新堀城
12	公田東遺跡	24	龜里鉢面遺跡	36	徳丸仲田遺跡	48	徳丸仲田遺跡



第1図 周辺遺跡図



第2図 遺跡位置図（現形前橋市都市計画図）



第3図 遺跡位置図（昭和43年調整前橋市都市計画図）

0 1:5000 200m

III 調査の方針と経過

1 調査方針

調査区名は、前年度に調査を行った南部拠点地区遺跡群№1、№2の続きで№3にあたり、調査区も6区に分れ、それぞれ9区、10区、11区、12区、13区、14区と呼称されていた関係で、1面はそれ使用し調査区が長く道路で分割されている所は、区の後にA・B・C・D等の呼称を付けて調査を行った。また、2面のトレンチ調査（トレンチかトレで詳記）では9区1トレンチ（1トレ）から14区14トレンチ（14トレ）まで（10トレは欠番）呼称し、調査を行った。

グリッドは、公共座標に基づいて 4×4 mで設定し、南北方向をY軸として北から南へY1、Y2、Y3、……、東西方向をX軸として西から東へX1、X2、X3、……、と付番した。各グリッドの呼称は北西杭の名称を使用している。また水準点B.Mは、9区の75.50mから最高点、12区の78.50mまで、0.5m単位に区切ったB.Mを使用し、等高線は5cm間隔とした。各調査区の公共座標（世界測地系 第IX系）は次のとおりである。9区X385、Y136グリッド X=36,756.00m Y=-65,860.00m、10区X305、Y62グリッド X=37,052.00m Y=-66,180.00m、11区X315、Y117グリッド X=36,832.00m Y=-66,140.00m、12区X243、Y90グリッド X=35,940.00m Y=-66,428.00m、13区X283、Y123グリッド X=36,808.00m Y=-66,268.00m、14区X345、Y133グリッド X=36,768.00m Y=-66,020.00m

調査の手順は、表土掘削・遺構確認・杭打ち測量・遺構精査・写真撮影・図面作成の順に行った。図面作成は、平板と造り方を用いて、平面図は1/50・1/100、断面図は1/20の縮尺で作図を行った。遺物については遺物分布平面図を作成し、遺物台帳に記載し、付番処理して取り上げた。遺構等の写真撮影は、35mmモノクロ・リバーサル、デジタルカメラの3種類を使用した。

2 調査経過

調査は、市教育委員会のもとに組織する前橋市埋蔵文化財発掘調査団（以下「調査団」という）の指導、監督のもと、スナガ環境測設株式会社が実施した。平成21年7月22日より資材搬入のための準備を行い、24日より現地調査事務所を設置し、発掘器材や掘削機械及び資材を搬入した。また、調査区が道路に面しているため、安全対策として調査範囲をロープで囲い調査準備を行った。

7月30日 調査範囲及び遺構検出面の確認を、調査団の業務監督員と行い調査に入る。

表土掘削は調査団の指示で、北西側の10区A1面から掘削機械（バックホウ）、不整地運搬車（クローラー）で開始した。また、遺構確認を行いB軽石下水田跡、溝、土坑、ピットを検出した。

8月5日よりジョレン掛けによる精査作業と移植ゴテによる遺構の発掘作業に入る。また、公共座標（基準点）からグリッドとベンチ（B.M）を設定して測量・記録作業に入り、後着手範囲を除き11区、12区、1面へと調査を進めた。

10月5日に1面の空中写真撮影を行い、調査終了後に調査団業務監督員の検査を受けた。

10月9日より10区2・3・4トレ、11区5・6・7トレ、12区8・9トレ、13区11・12・13トレ2面（10トレは地権者の都合で未調査となる）の各3m幅のトレンチによる、遺構確認調査を行った。C軽石混土面からは、土坑、ピット等が検出され、12区9トレの土坑、ピットからは古墳時代の遺物が出土した。また、2面の測量・記録作業終了後に業務監督員の検査を受け、1、2面の調査を終了する。

10月30日に地権者の都合で後着手だった9区、14区について、調査に入ることが決まり1面の調査に入る。遺構確認では、B軽石下水田跡や溝、中近世の土坑、ピットなどが検出された。

11月13日から10区、11区、12区、13区の埋め戻し作業に入る。

11月18日に9区、14区1面の空中写真撮影を行い、測量・記録作業終了後に業務監督員の検査を受ける。

11月19日より9区1トレ、14区14トレ2面の表土掘削と遺構確認に入る。検出した遺構は、9区1トレよりHr-FAが堆積する溝1条が検出された。14区14トレからは、C軽石混土面を確認したが遺構は検出されなかった。

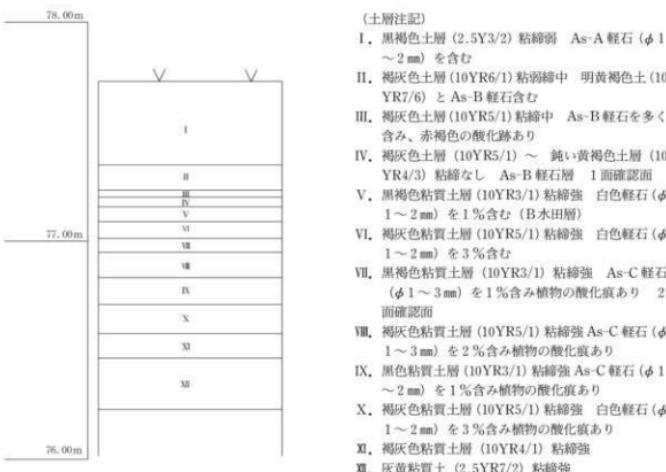
11月25日に9区1トレ、14区14トレ2面の検査を受けて、1、2面の調査を終了する。

11月27日から9区、14区の埋め戻しと、資材搬出作業を行い12月9日すべて終了した。

IV 層序

本遺跡の基本土層は、10区Aの南壁側に入れた深掘りをもとにし、模式的に断面図を作成した。それについての土層説明を下記に掲載した。また圃場整備のため、ほとんどの調査区でAs-A軽石は、現耕作土にすき込まれていた。さらに、一部の調査区では、As-B軽石も同様にすき込まれていた。また、地点により堆積状態の差異が見られる所もあるが、基本的には第4図に示したとおりである。

第IV層が浅間山起因のAs-Bテフラ層で、その直下の第V・VI層が平安時代末期水田跡の土層である。また、第VII層が2面の確認面で、浅間山起因のAs-C軽石を含む層である。土層断面写真は、図版11を参照されたい。



第4図 基本土層断面図

V 調査の概要

本遺跡の調査では、現地表面より18~45cm掘り下げた面で、As-B テフラ層を確認し基本土層のIV層（As-B 軽石）として、1面の遺構調査を行った。また3m幅のトレンチによる2面調査も1面から12~22cm掘り下げたC軽石混土面でVII層を、2面の遺構確認面として調査を行った。

調査では、1面からAs-B 軽石に覆われた平安時代のB水田跡や大畦畔6本（推定含む）、水口3ヶ所、溝15条、馬の歩行跡1ヶ所、ピット3基などと、中世から近世以降の溝30条、中・近世のピット42基、平安時代・近世以降の土坑2基や焼夷弾落下跡1ヶ所などの遺構を検出した。

遺物は、B水田跡や溝から平安時代の土壺器、須恵器片が少量出土した。また、近世以降と思われる陶器、磁器片なども出土した。

2面は、C軽石混土面で、古墳時代の土坑2基、ピット18基、古墳時代から平安時代にかけてと思われる、溝4条が検出された。その中で、9区1トレからは、Hr-FAを含む溝と一部凹凸範囲が検出されたが、水田跡などは検出されなかった。

遺物は、12区9トレ内の土坑1、2号とピット4号からは、4世紀から5世紀にかけてと思われる遺物が出土した。

各区で検出した遺構は、計測表にまとめて報告する。

VI 検出された遺構と遺物

1 古墳時代、平安時代、中・近世の調査

(1) 9区1面、9区2面1トレ〔第5図、図版1・2〕

調査区の南東側に位置する。1面で検出した遺構はAs-B水田、溝、ピット、夷弾落下跡などがある。遺構の確認面は、現地表から33~45cm下である。As-B水田は、浅間B軽石が2~8cm程の厚さで検出され、その下から水田跡が13面検出された。区画の規模は[1.09~228.70]m²を測る。また、区画する畦畔は全体で計15本検出され上幅[13~50]cm、下幅[41~85]cmを測り、そのうちの6・8号畦畔は推定大畦畔である。水田面の標高は、9区1号水田の標高75.39m~13号水田の標高75.10mで比高差29cmを測り、1号水田から13号水田への配水が考えられる。また、水口は検出されなかつたが、南北方向に馬の足跡列が検出された。溝は、W-1~3号の3条検出されいずれも南北方向に位置し、W-1・3号はAs-B軽石で埋まっている。ピットは、P-1~3号でAs-B軽石を多く含むもので中世以降と思われる。また、推定大畦畔とW-2号と重複し梢円形の凹みで焼夷弾落下跡と推測される遺構も検出され、近代の遺物（鉄片）の出土があつた。

2面では、1面から16~20cm下のAs-C軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、Hr-FAで埋まる溝W-4を1条とさらにHr-FAを含む凹凸面を確認したが、部分的であり水田などの遺構は検出されなかつた。

9区1面、2面1トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第2表 水田計測表

〔 〕は検出値を表す。

水田No.	面積(m ²)	東畔(m)	西畔(m)	南畔(m)	北畔(m)	備考
1	[6.67]	[2.18]				9区1面
2	[23.94]	[3.65]	[2.18]			9区1面
3	[42.56]	[5.73]	[3.65]			9区1面
4	[40.02]	[7.40]	[5.73]			9区1面
5	[106.29]	[11.23]	[7.40]			9区1面
6	[228.70]	[15.50]	[11.23]	[3.90]		9区1面 東側中央で半円状、W-2と重複
7	[18.61]	[13.40]	[16.30]			9区1面 西側中央で半円状、W-2と重複
8	[1.09]	[1.30]		[3.90]		9区1面 W-2と重複
9	[4.89]	[3.60]	[3.15]	[2.35]		9区1面
10	[144.75]	[11.10]	[13.40]	12.75		9区1面、馬足跡列あり、W-1と重複
11	[64.45]	[7.15]	[3.58]		13.12	9区1面、馬足跡列あり、W-1と重複
12	[33.23]		[11.10]	[3.20]		9区1面
13	[15.18]		[7.15]	[3.20]		9区1面

第3表 畦畔計測表

〔 〕は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

畦畔 No.	グリッド	上幅(cm)	下幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備考
				北側	南側	東側	西側		
1	X376, Y134	[18~30]	[52~69]	[3.0~5.5]	[1.5~3.0]	N-S	9区1面		
2	X379, Y134~135	[25~30]	[50~60]	4.0~4.5	[1.0~1.5]	N-S	9区1面		
3	X381, Y134~135	[18~29]	[51~60]	[3.0~5.5]	[1.0~2.0]	N-S	9区1面		
4	X383, Y134~136	[13~25]	[45~60]	[4.0~6.0]	[2.0~3.0]	N-S	9区1面		
5	X386, Y134~137	[30~35]	[42~66]	[2.5~3.5]	[1.0~2.0]	N-S	9区1面		
6	X390, Y134~138	[30~50]	[75~85]	[4.0~9.0]	[2.0~6.5]	N-S	9区1面		
7	X390, Y137~138	[27~48]	[56~81]	[1.0~1.5]	[1.0~3.0]	E-W	9区1面		
8	X396, Y138	[39~42]	[80~84]	[4.5~6.0]	[6.0~9.0]	N-S	9区1面		
9	X390~391, Y137	35~45	74~78	5.5~6.5	5.0~6.5	E-W	9区1面		
10	X391, Y134~137	[22~27]	[55~63]	[1.0~2.5]	[1.5~2.0]	N-S	9区1面		
11	X391, Y137~138	[27~37]	[66~73]	[2.5~4.0]	[1.5~4.5]	N-S	9区1面		
12	X391~394, Y137	[22~35]	[55~75]	1.0~4.0	3.0~6.0	E-W	9区1面		
13	X394, Y135~137	[23~30]	[50~60]		[1.0~3.0]	[2.0~4.5]	N-S	9区1面	
14	X394~395, Y137	[29~48]	[58~68]	[1.0~1.5]	[3.5~4.5]	E-W	9区1面		
15	X394, Y137~139	[29~38]	[41~58]		[1.0~4.0]	[1.0~3.5]	N-S	9区1面	

No. 6, 8は大畦畔。

第4表 溝計測表 ()は推定値、〔 〕は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

溝 No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備考
1	X391~392, Y134~138	17.20	N15, S 4	N75.05, S75.06	32~50	19~32			9区1面
2	X396, Y134~135	[4.70]	[N 5, S 5]	N75.12, S75.12	20~30	8~12			9区1面
3	X396, Y134~138	(17.5)	N 7, S 6	N75.08, S75.03	[2.85]	[30~56]	[15~20]	N-S	9区1面
4	X386~387, Y134~135	4.1	N 8, S 6	N74.84, S74.83	2.43	80~95	30~35	N-S	9区2面1面

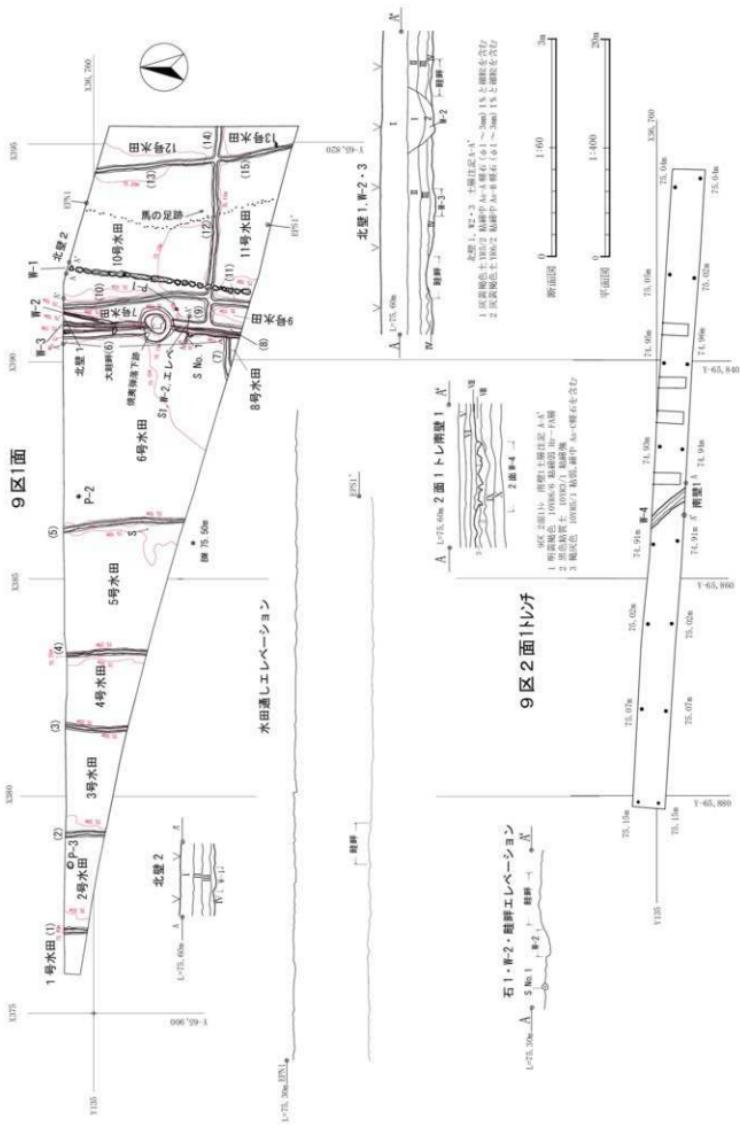
第5表 ピット計測表

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X391, Y136	28	24	16	ほぼ円形	9区1面
P-2	X386, Y134	32	30	11	やや四角	9区1面
P-3	X378, Y134	62	57	13	稍円	9区1面

第6表 燃夷弾落下降計測表

〔 〕は検出値を表す。

番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
1	X290~291, Y136	206	175	[120]	稍円形	9区1面 大畦畔、W-2と重複



第5図 9区1面、2面1トレンチ実測図

(2) 10区1面A・B・C・D、10区2面 2・3・4トレーナ [第6~8図、図版2~5]

調査区の北側に位置する。1面で検出した遺構はAs-B水田、溝、ピット、などがある。遺構の確認面は、現地表から18~38cm下である。As-B水田は、浅間B軽石が3~6cm程の厚さで検出され、その下から、A・B・C・D調査区で水田跡が計66面検出された。区画の規模は[0.23~251.79]m²を測る。また、区画する畦畔は全体で計111本検出され上幅[10~273]cm、下幅[30~325]cmを測り、そのうちのA調査区29・30・31・33号畦畔、C調査区70・71・72号畦畔、D調査区107・109・111号畦畔は大畦畔である。水田面の標高は、10区Aの1号水田の標高77.28m~10区Dの66号水田の標高76.54mで比高差74cmを測り、1号水田から66号水田へ配水が考えられる。また、水口はD調査区で1ヵ所検出された。C調査区では、南北方向に凹凸範囲が検出されたが、はっきりとした形状が残るものを見られない。溝はA・B・C・D調査区で、W-1~19号までの19条検出しW-1・2-1・2-2・4・5号を除き、いずれも南北方向に位置し、W-7~9・11~14・17号はAs-B軽石で埋まっている。また、W-9・11・19号は大畦畔に伴う溝である。ピットはA・B・C・D調査区で、計36基検出した。P-13・14・32号はAs-B軽石で埋まっていた。その他はAs-B軽石を多く含むものや、As-A軽石の混入するもので中世から近世と思われる。2面では、1面から15~17cm下のAs-C軽石を含む泥土層を確認面とした。検出した遺構は、10区2トレからP-37~46号まで検出した。いずれもAs-C軽石を含む。溝は、10区A2トレ、C4トレからW-20~22号を検出した。浅い溝でAs-C軽石を含む。

10区1面A・B・C・D、2面2・3・4トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第7表 水田計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

水田No	面積(m ²)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備考
1	[17.41]	[0.65]		[7.65]		10区A 1面
2	(65.13)	7.42		2.82	[7.65]	10区A 1面
3	(28.48)	4.33		[9.55]	[2.82]	10区A 1面
4	[31.91]	[2.55]			[9.55]	10区A 1面 W-2-1・2-2と重複
5	[69.20]	[4.52]	8.02	10.92		10区A 1面
6	[4.13]	0.85	[0.90]	5.89		10区A 1面
7	106.16	4.60	9.10	18.50	20.05	10区A 1面 W-3と重複
8	[251.79]	[9.90]	[6.90]	[4.50]	34.92	10区A 1面 W-2・4・5と重複
9	[11.44]	[1.35]	[0.85]	14.29		10区A 1面
10	[2.61]	[1.70]			(4.50)	10区A 1面
11			[1.30]	[0.40]		10区A 1面
12			4.60	[2.65]	[0.40]	10区A 1面
13			(8.45)	(18.95)	[2.90]	10区A 1面
14	[28.89]	[5.25]	[6.75]	5.55		10区A 1面 東側大畦畔
15	[117.22]	7.75	[1.55]	[12.15]	(24.55)	10区A 1面 東側大畦畔、W-4・5と重複
16	[5.15]	[2.28]			[5.72]	10区A 1面
17	[10.03]	[2.48]	[2.33]		6.10	10区A 1面 東側大畦畔、W-4と重複
18	[10.85]	[1.45]	[2.12]	(7.72)	6.10	10区A 1面 西側大畦畔、W-10と重複
19	[21.11]	[2.73]	[1.65]	11.43		10区A 1面
20	27.94	5.92	5.53	(4.68)	(7.75)	10区A 1面 西側大畦畔、W-10と重複
21	49.58	4.25	5.57	13.42	11.48	10区A 1面
22	25.59	6.12	5.62	(5.32)	(16.32)	10区A 1面 西側大畦畔、W-10と重複
23	[75.14]	[5.04]	6.15	[2.50]	13.45	10区A 1面
24	[4.56]	[0.76]	[1.88]		(5.72)	10区A 1面 西側大畦畔、W-4・10と重複
25	[0.23]		0.68		[2.50]	10区A 1面
26	(46.01)		3.10	[10.22]		10区A 1面
27	[46.56]	[6.58]	9.08		8.20	10区A 1面
28	(55.00)		6.78		[2.28]	10区A 1面
29	[72.28]	[2.27]				10区B 1面
30	[4.08]		[2.27]			10区B 1面
31	[42.35]	[5.67]				10区C 1面
32	45.54	6.73	[5.67]	[5.19]		10区C 1面
33	(39.07)	[3.31]	[3.31]	6.84		10区C 1面
34	[24.27]	4.73	3.93		6.84	10区C 1面
35	(43.07)	3.98	[3.31]	12.70		10区C 1面
36	[54.92]	7.89	4.73		12.30	10区C 1面
37	(14.83)	4.22	3.98	4.09		10区C 1面
38	[28.80]	7.65	7.98		4.09	10区C 1面
39	(27.81)	[2.91]	0.51	19.15		10区C 1面 東側大畦畔
40	(78.24)		3.67	[8.20]	19.15	10区C 1面 東側大畦畔

水位(m)	面積(m ²)	東畔(m)	西畔(m)	南畔(m)	北畔(m)	備考
41	(55.19)		5.66	20.83	[8.20]	105C 1面 東側大畦畔
42	[70.43]	[6.29]	[1.94]		20.83	105C 1面 東側大畦畔
43	[31.75]		3.05	[18.27]		105C 1面
44	[122.43]	8.63	6.23	[20.29]	[18.27]	105C 1面 西側大畦畔
45	95.58	6.90	7.11		20.29	105C 1面 西側大畦畔
46	136.16	7.20	8.77	17.63		105C 1面 西側大畦畔
47	110.42	6.13	6.78		17.63	105C 1面 西側大畦畔
48	[40.21]	7.50		[5.25]		105D 1面
49	40.56	8.57		[6.42]		105D 1面
50	85.85	7.22	[7.50]	13.68		105D 1面
51	96.94	8.80	8.57		12.64	105D 1面
52	(117.11)	9.98	[9.75]	12.25		105D 1面
53	[46.12]	[4.27]	[4.87]		12.25	105D 1面
54	[7.06]	[1.80]		[0.60]		105D 1面
55	(10.79)		[1.80]	[0.74]		105D 1面
56	[59.53]	[12.15]	9.98	5.77	[0.74]	105D 1面
57	[19.81]	[4.09]	4.27		5.77	105D 1面
58	98.51	[4.85]	[7.71]	17.58		105D 1面
59	[54.59]	8.62	8.53		5.17	105D 1面
60	43.45	6.55	4.28	9.79	10.55	105D 1面
61	[64.55]	[4.49]	[3.45]	[10.55]	18.18	105D 1面 東側大畦畔
62	[1.66]		0.85	[7.45]		105D 1面
63	[78.37]	[9.47]	[11.38]	[8.32]		105D 1面 東側大畦畔
64	[1.33]		0.89	[6.95]		105D 1面 西側大畦畔
65	60.04		8.42	[9.09]	(6.95)	105D 1面 西側大畦畔
66	[38.18]		4.73	[9.09]		105D 1面 西側大畦畔

第8表 畦畔計測表 ()は推定値, []は検出値, E-W-N-Sは東西南北を表す。

畦畔 No	グリッド	上 畷 (cm)		下 畷 (cm)		畦野の高さ(cm)				走行 備考
		北側	南側	東側	西側					
1	X262~265, Y61・62	[16~41]	[42~75]	[1.0~3.5]	[2.0~5.5]					E-W 105A 1面
2	X265, Y61	[36]	[75]			[4.5]	[3.5]			N-S 105A 1面
3	X265, Y61~63	21~37	61~71			[2.5~3.0]	[0.5~4.5]			N-S 105A 1面
4	X264~265, Y63	[21~22]	[50~58]	[1.5~3.0]	[0.5~3.0]					E-W 105A 1面
5	X265, Y63~64	[15~30]	[58~71]			[2.0~3.5]	[2.0~3.0]			N-S 105A 1面
6	X263~265, Y64	[15~19]	[49~60]	[2.0~3.5]	[1.5~6.0]					E-W 105A 1面
7	X265, Y64~65	[18~26]	[52~60]			[2.5~4.0]	[2.0~4.0]			N-S 105A 1面
8	X265~267, Y62~63	19~32	[50~62]	2.5~5.0	4.0~6.0					E-W 105A 1面
9	X267~268, Y61	[20~23]	[60~64]			[2.0~3.5]	[2.0~3.0]			N-S 105A 1面
10	X268~269, Y61	21~24	[50~60]	1.0~4.0	1.5~3.0					E-W 105A 1面
11	X267, Y61~62	[20~41]	[52~75]			[3.5~5.0]	[2.5~3.0]			N-S 105A 1面
12	X267~268, Y61~63	[20~42]	[44~76]			[3.5~4.0]	2.0~4.0			N-S 105A 1面
13	X268, Y61	[35]	[48]				[1.5]			N-S 105A 1面
14	X268~272, Y61	[11~30]	[45~67]	[1.0~2.5]	[1.5~4.5]					E-W 105A 1面
15	X268~272, Y62~63	[3~16]	[50~67]	[1.0~5.0]	[2.0~4.0]					E-W 105A 1面
16	X272~273, Y61	[18~24]	[41~47]			[0.5]	[0.5]			N-S 105A 1面
17	X273, Y61	[20]	[50]	[3.5]	[0.5]					W-E 105A 1面
18	X272, Y61~62	[19~27]	[39~56]	[0.5~1.0]	[1.0~4.0]					N-S 105A 1面
19	X273, Y62	[19~27]	[39~56]			0.5~3.0	2.5~3.0			E-W 105A 1面
20	X272~273, Y62~64	[12~22]	[50~63]			[0.5~5.5]	[0.5~3.0]			N-S 105A 1面
21	X271~272, Y64~65	[25~37]	[56~58]	[2.0~2.5]	[3.5~4.0]					E-W 105A 1面
22	X272~273, Y64~65	[22~23]	[49~58]			[4.5~6.0]	[2.0~4.0]			N-S 105A 1面
23	X273~277, Y62~64	[20~41]	[52~73]	[2.0~4.5]	[2.0~4.5]					E-W 105A 1面
24	X275~277, Y64~65	[30~35]	[52~60]	[1.0~2.5]	[5.0~7.5]					E-W 105A 1面
25	X276~277, Y60~62	[17~32]	[43~62]			[1.0~2.5]	[2.0~3.0]			N-S 105A 1面
26	X277~278, Y62	[19~29]	[46~67]	2.0~5.0	2.0~4.5					E-W 105A 1面
27	X277~278, Y64	[32~49]	[66~81]	1.5~2.5	1.5~4.5					E-W 105A 1面
28	X277, Y64~65	[34~40]	[59~70]			[1.0~2.0]	[0.5~3.0]			N-S 105A 1面
29	X278, Y60~61	[115~120]	[159~160]			[1.5~2.5]	[2.5~3.0]			N-S 105A 1面
30	X288, Y62~64	[143~151]	[188~192]			1.0~2.5	1.0~4.0			N-S 105A 1面
31	X278~279, Y64	[140~157]	[175~210]			[2.0~6.0]	[2.0~7.0]			N-S 105A 1面
32	X278~280, Y61	[20~45]	[43~90]	[0.5~2.0]	[1.5~5.0]					E-W 105A 1面
33	X278, Y61~62	[132~142]	[167~180]			3.0~4.5	1.0~3.0			N-S 105A 1面
34	X279~280, Y62	[17~21]	[50~60]	[0.5~2.0]	[1.5~2.0]					E-W 105A 1面
35	X279~280, Y64	[23~45]	[55~80]	[0.5~3.0]	[3.0~5.0]					E-W 105A 1面
36	X280, Y60~61	[30~32]	[62~65]			[3.0~4.0]	[0.5~1.0]			N-S 105A 1面
37	X280, Y61~62	[27~32]	[53~60]			1.5~4.5	0.5~1.0			N-S 105A 1面
38	X280, Y62~64	[20~25]	[55~65]			3.5~5.0	1.0~1.5			N-S 105A 1面
39	X280, Y64	[182]	[50]			[1.0]	[0.5]			N-S 105A 1面
40	X280~283, Y61	[27~49]	[58~85]	0.5~2.0	1.0~3.0					E-W 105A 1面
41	X280~283, Y62	[18~30]	[58~69]	0.5~1.5	3.0~5.0					E-W 105A 1面
42	X280~281, Y64	[32~49]	[78~83]	[1.5~2.0]	[4.0]					E-W 105A 1面
43	X283, Y60~61	[52~62]	[95~102]			[0.5~3.5]	[0.5~1.0]			N-S 105A 1面

種群 No	グリッド	上 幅 (cm)	下 幅 (cm)	種群の高さ(cm)				走行	備 考
				北 側	南 側	東 側	西 側		
44	X 283, Y 61・62	29~29	58~69			1.0~3.0	1.5~3.0	N-S	106KA 1 領
45	X 283・284, Y 62・63	29~28	[47~67]		[1.5~3.0]	[1.5~2.0]	N-S	106KA 1 領	
46	X 283~285, Y 61	13~27	39~62	1.0~2.0	1.0~4.0			E-W	106KA 1 領
47	X 283・286, Y 61	[40]	[60]		[1.0~3.0]			E-W	106KA 1 領
48	X 285, Y 61~63	26~44	[62~80]			[2.5~4.0]	[1.5~2.5]	N-S	106KA 1 領
49	X 293, Y 60	49~51	79~85			[1.0~1.5]	[1.5~3.5]	N-S	106KA 1 領
50	X 293, Y 61・64	21~27	47~60			[0.5~3.0]	[1.5~4.0]	N-S	106KC 1 領
51	X 293~299, Y 64	28~47	62~77	[1.0~2.0]	[1.0~2.5]			E-W	106KC 1 領
52	X 295, Y 62・63	49~54	[64~79]			[1.0~2.5]	[1.0~2.0]	N-S	106KC 1 領
53	X 295~297, Y 63	39~49	63~79	0.5~1.5	1.5~2.0			E-W	106KC 1 領
54	X 295, Y 63・64	18~58	[46~89]			[3.0~3.5]	[3.5~3.5]	N-S	106KC 1 領
55	X 297, Y 62・63	34~41	63~70			[0.5~1.0]	[1.0~2.0]	N-S	106KC 1 領
56	X 297, Y 63・64	39~49	[56~74]			[1.5~2.0]	[0.5]	N-S	106KC 1 領
57	X 299~306, Y 62・63	30~45	61~75	0.5~1.5	1.0~3.5			E-W	106KC 1 領
58	X 300~311, Y 61	22~38	[57~73]			[0.5]	[1.0~1.5]	N-S	106KC 1 領
59	X 309~306, Y 62~64	39~45	66~78			[1.0~3.0]	[0.5~1.0]	N-S	106KC 1 領
60	X 309~301, Y 62	29~32	[57~61]	[0.5~1.0]	[1.0~1.5]			E-W	106KC 1 領
61	X 301, Y 61・62	24~49	[53~77]			1.0~3.5	[2.0~2.5]	N-S	106KC 1 領
62	X 301, Y 61	[23]	[51]			[0.5]	[0.5]	N-S	106KC 1 領
63	X 301, Y 61・62	32~49	58~77			0.5~3.5	1.5~2.5	N-S	106KC 1 領
64	X 309~301, Y 61・63	29~31	49~71			2.0~3.5	1.5~3.0	N-S	106KC 1 領
65	X 309~301, Y 62~64	28~31	[49~73]			[2.0~3.5]	[0.5~3.0]	N-S	106KC 1 領
66	X 309~301, Y 63・64	39~38	[60~70]			[2.0~2.5]	[0.5]	N-S	106KC 1 領
67	X 301~305, Y 61	27~39	55~70	0.5~2.5	2.0~3.0			E-W	106KC 1 領
68	X 301~305, Y 62	[21~30]	[53~67]	[0.5~1.0]	[0.5~2.5]			E-W	106KC 1 領
69	X 301~305, Y 63	24~44	40~70	0.5~2.0	2.0~5.0			E-W	106KC 1 領
70	X 305~306, Y 60	22~278	[271~341]			[1.0~2.5]	[1.0~5.0]	N-S	106KC 1 領
71	X 305~306, Y 60~62	241~284	262~300			1.0~4.0	1.5~2.0	N-S	106KC 1 領
72	X 305~306, Y 62~64	233~273	[306~325]			[1.5~3.5]	[1.0~1.5]	N-S	106KC 1 領
73	X 306~310, Y 60	20~36	[41~75]	[1.0~2.0]	[1.0~4.5]			E-W	106KC 1 領
74	X 306~311, Y 62	25~40	50~75	1.0~4.0	1.5~3.0			E-W	106KC 1 領
75	X 311, Y 60~62	37~42	[68~75]			[0.5~2.0]	N-S	106KC 1 領	
76	X 311, Y 62~63	39~40	[70~80]			[1.0~2.0]	N-S	106KC 1 領	
77	X 311~315, Y 62	21~31	60~78	0.5~4.5	1.0~5.0			E-W	106KC 1 領
78	X 315, Y 60~62	16~20	46~62			[0.5~1.0]	[1.0~3.5]	N-S	106KC 1 領
79	X 318~318, Y 62~63	15~19	40~54			[1.5]	[1.0~2.0]	N-S	106KC 1 領
80	X 318~319, Y 61	36~46	71~80	[1.0~3.5]	[1.0~2.5]			E-W	106CD 1 領
81	X 319, Y 60~61	22~38	[47~67]			[1.0~2.5]	[0.5~4.5]	N-S	106CD 1 領
82	X 319~322, Y 61	27~39	68~70	1.0~2.5	1.0~4.5			E-W	106CD 1 領
83	X 319, Y 61~63	36~56	85~92			[2.0~3.0]	[0.5~1.0]	N-S	106CD 1 領
84	X 322, Y 59~61	25~39	75~93			[0.5~1.0]	[1.0~2.5]	N-S	106CD 1 領
85	X 322, Y 61~63	29~31	75~83			[0.5~1.0]	[1.0~2.0]	N-S	106CD 1 領
86	X 322~325, Y 62	31~140	70~200	0.5~2.0	1.0~2.5			E-W	106CD 1 領
87	X 322, Y 62~63	25~40	[77~90]			[1.0~1.5]	[1.0~2.5]	N-S	106CD 1 領
88	X 325~326, Y 59	31~41	[70~80]			[0.5]	[0.5]	N-S	106CD 1 領
89	X 325~326, Y 59	43	[79]	[0.5]	[0.5]			E-W	106CD 1 領
90	X 325, Y 59	[41]	[78]	[1.0]	[0.5]			E-W	106CD 1 領
91	X 325~328, Y 60~62	27~29	63~71			[0.5~1.5]	[0.5]	N-S	106CD 1 領
92	X 325~327, Y 62	27~33	70~77	1.0~3.0	0.5~2.0			E-W	106CD 1 領
93	X 325~327, Y 62~63	36~50	[77~89]			[0.5~1.5]	[0.5~2.5]	N-S	106CD 1 領
94	X 327, Y 59~61	[41~66]	[83~105]			[0.5~1.5]	[0.5~1.5]	N-S	106CD 1 領
95	X 327, Y 61	30~39	73~85	0.5~1.0	1.0~2.5			E-W	106CD 1 領
96	X 327, Y 61~62	23~29	63~75			1.0~2.0	0.5~1.0	N-S	106CD 1 領
97	X 327, Y 62~63	19~45	54~90			[1.0~2.0]	[0.5]	N-S	106CD 1 領
98	X 331, Y 59~60	39~49	[77~85]			[1.5~3.5]	[0.5~3.5]	N-S	106CD 1 領
99	X 329~331, Y 60~61	37~43	65~83	0.5~2.0	0.5~3.5			E-W	106CD 1 領
100	X 331, Y 60~62	33~42	63~81			2.0~4.0	[3.0~4.5]	N-S	106CD 1 領
101	X 331~333, Y 62	30~43	64~78			0.5~2.5	1.0~3.5	N-S	106CD 1 領
102	X 329~331, Y 62	28~68	71~103	0.5~1.0	1.5~3.0			E-W	106CD 1 領
103	X 329, Y 62~63	42~53	79~83			1.0~1.5	1.5~4.0	N-S	106CD 1 領
104	X 329~331, Y 63	25~57	[59~73]	[1.0~3.5]	[0.5~2.0]			E-W	106CD 1 領
105	X 329, Y 63	[58]	[82]			[3.0]	[1.5]	N-S	106CD 1 領
106	X 331, Y 62	[57~63]	[94~106]	[1.0~2.0]	2.0~5.5			E-W	106CD 1 領
107	X 333~334, Y 59	[120]	[153]			[2.0]	2.0	N-S	106CD 1 領
108	X 333~335, Y 59~60	[35~47]	[67~90]	[0.5~2.0]	[4.0~6.0]			E-W	106CD 1 領
109	X 333~334, Y 60~62	71~107	115~150			[2.5~5.0]	[1.0~4.0]	N-S	106CD 1 領
110	X 333~336, Y 61~62	43~48	[75~90]	[1.0~2.0]	[2.0~3.5]			E-W	106CD 1 領
111	X 333~334, Y 62~63	[55~83]	[92~118]			[2.0~5.5]	[0.5~2.5]	N-S	106CD 1 領

No.29~31、33、70~72大畦畔、No.75、76はIW-13と重複。No.66~111大畦畔。No.84~86はIW-17と重複。

第9表 溝計測表

〔〕は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

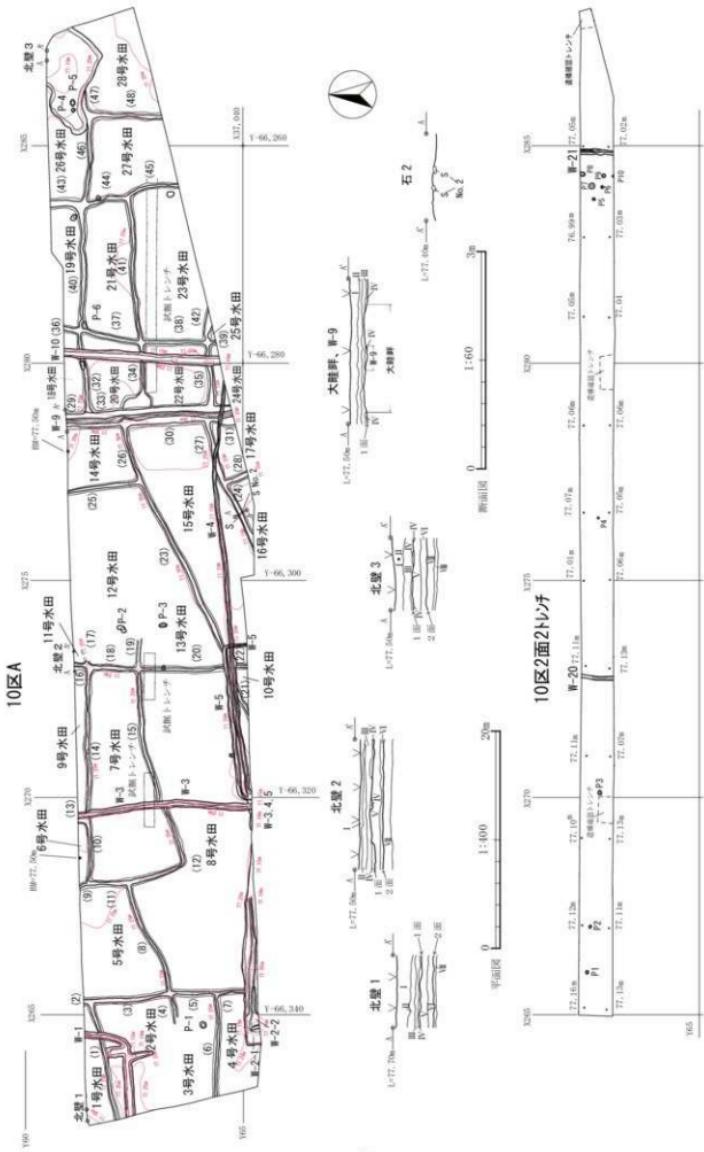
溝 No.	道構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備考
1	X 262~264, Y61~62	10.45	W17, N16	W77.07, N77.09	1.91	62~85	16~40	N-W	105KA 1面
2-1	X 264~269, Y65	[18.50]	W12, E15.5	W77.08, E77.05	1.62	65~149	45~102	W-E	105KA 1面
2-2	X 264~268, Y65	3.6	W 7, E 3	W77.11, E77.10	2.77	33~110	12~95	W-E	105KA 1面
3	X 269, Y61~65	16.09	N15, S14	E77.09, S77.05	2.48	55~65	13~25	N-S	105KA 1面
4	X 270~279, Y64~65	38.20	W11.5, E6.5	E77.12, W77.07	1.30	29~52	11~17	E-W	105KA 1面
5	X 269~275, Y65	16.60	W9, E 3	E77.18, W77.10	4.81	29~45	9~23	E-W	105KA 1面
6	X 289~290, Y60~61	4.38	N36, S28.5	N76.74, S76.72	4.56	[242]	[110]	N-S	105KB 1面
7	X 290, Y60~61	5.50	N12, S10	N77.19, S77.00	34.54	35~47	18~27	N-S	105KB 1面
8	X 290, Y60~61	9.84	N7, S10	N77.06, S77.00	10.27	32~47	15~21	N-S	105KB 1面
9	X 278, Y60~64	15.39	N 4, S 10	E77.22, S77.13	5.84	38~60	11~25	N-S	105KA 1面
10	X 277~280, Y64	14.40	N17, S15	N77.04, S77.01	2.08	73~80	27~40	N-S	105KA 1面
11	X 306, Y60~64	16.03	N 2, S 4	N76.94, S76.90	2.49	55~107	28~56	N-S	105C 1面
12	X 307~308, Y60~63	16.06	N 6, S 3	E76.92, S76.89	1.86	39~55	15~25	S-N	105C 1面
13	X 311, Y60~63	15.55	N4.5, S 4	N76.89, S76.85	2.57	56~65	15~22	N-S	105C 1面
14	X 313~315, Y60~63	17.35	N 5, S 8	N76.86, S76.80	3.45	40~78	10~23	N-S	105C 1面
15	X 318~319, Y59~63	16.04	N11.5, S12	N76.73, S76.69	2.49	30~63	10~10.5	N-S	105D 1面
16	[X318, Y61~62]	[6.85]	[N 4, S 5]	[N76.80, S76.76]	[5.83]	[15~10]	[8~17]	[N-S]	105D 1面
17	X 322, Y59~62	11.15	N 5.5, S 3.5	N76.74, S76.72	1.79	75~120	22~61	S-N	105D 1面
18	X 333, Y59~63	15.92	N34, S27	E76.35, S76.30	3.14	134~176	30~62	N-S	105D 1面
19	X 333, Y59~61	8.18	N 4, S 2.5	N76.66, S76.61	1.06	25~35	9~11	N-S	105D 1面
20	X 272, Y62~63	2.96	N 3, S 13	N77.06, S76.95	37.16	28~39	15~20	N-S	105A 2面2トレ
21	X 284, Y62	3.05	N11.5, S6.5	N76.86, S76.92	19.67	38~50	8~10	S-N	105A 2面2トレ
22	X 299~300, Y62~63	4.0	N10, S 9	N76.74, S76.72	5.00	122~130	82~95	S-N	105C 2面4トレ

W-9, 11, 19は大陸面上にあります。

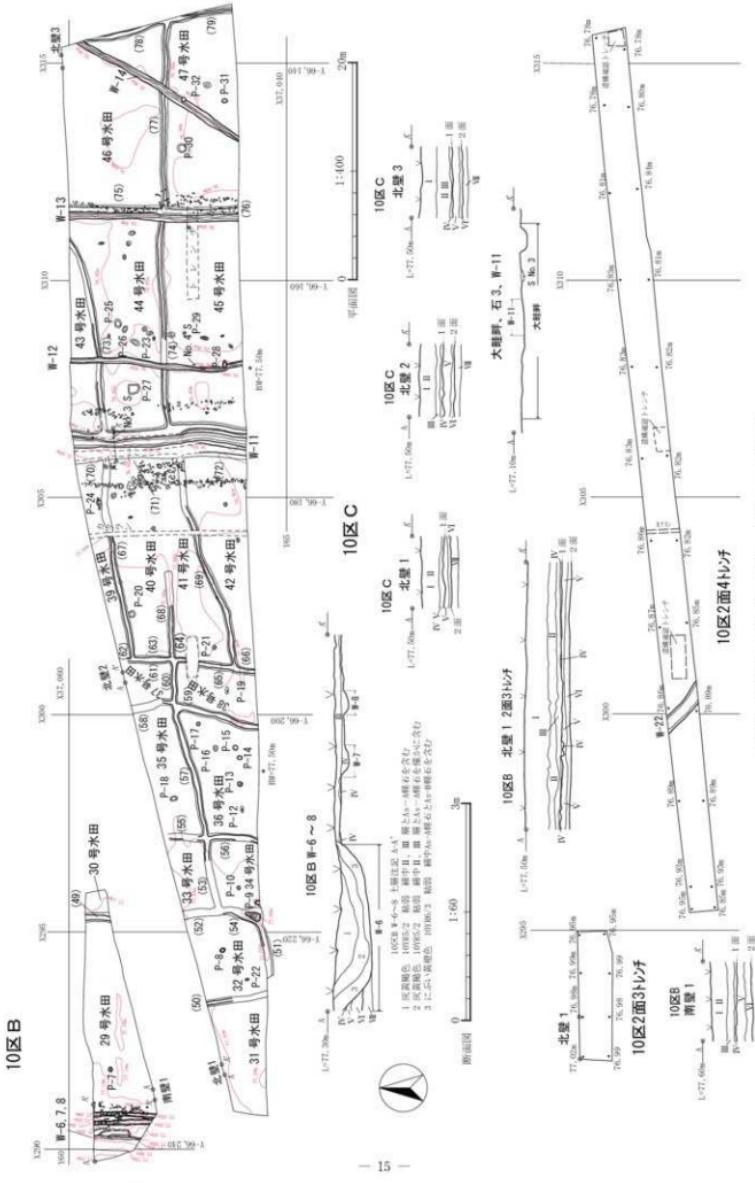
第10表 ピット計測表

()は検定値、〔〕は検出値を表す。

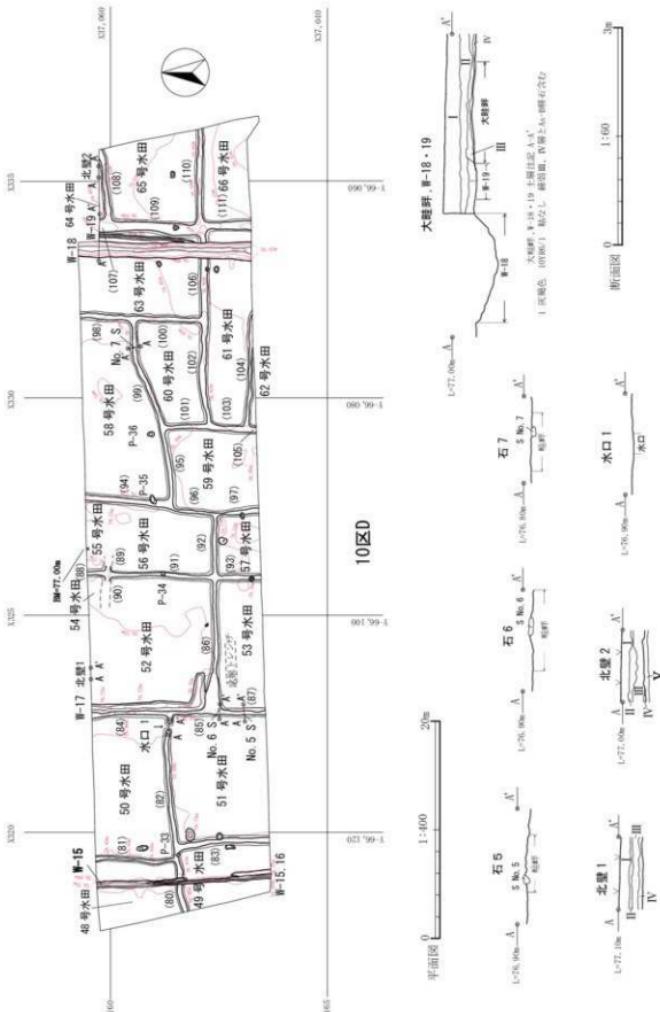
ピット番号	道構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X 264, Y64	61	57	12	梢円形	105KA 1面
P-2	X 273, Y62	36	16	37	不定形	105KA 1面
P-3	X 273~274, Y63	30	15	13	不規形	105KA 1面
P-4	X 285, Y61	40	37	12	円形	105KA 1面
P-5	X 285~286, Y61	62	55	27	梢円形	105KA 1面
P-6	X 280~61	72	48	21	梢円形	105KA 1面
P-7	X 291, Y60	42	37	8	梢円形	105B 1面
P-8	X 294, Y63	52	40	10	梢円形	105C 1面
P-9	X 295, Y64	(50)	45	24	梢円形	105C 1面
P-10	X 293, Y64	40	32	18	梢円形	105C 1面
P-11	X 283, Y63	67	52	19	梢円形	105C 1面
P-12	X 297, Y63~64	55	23	13	梢円形	105C 1面
P-13	X 298, Y63	44	40	5	ほぼ円形	105C 1面
P-14	X 298~299, Y63	50	38	9	ほぼ円形	105C 1面
P-15	X 299, Y63	51	50	17	円形	105C 1面
P-16	X 299, Y63	54	42	13	梢円形	105C 1面
P-17	X 299, Y62~63	40	38	14	円形	105C 1面
P-18	X 298, Y62	70	40	15	梢円形	105C 1面
P-19	X 300, Y63	67	28	19	梢円形	105C 1面
P-20	X 302, Y61	67	65	14	円形	105C 1面
P-21	X 301, Y63	42	37	12	梢円形	105C 1面
P-22	X 293, Y64	38	17	8	梢円形	105C 1面
P-23	X 308, Y61	95	50	16	梢円形	105C 1面
P-24	X 304, Y60	70	50	17	梢円形	105C 1面
P-25	X 308~309, Y61	80	65	12	梢円形	105C 1面
P-26	X 308, Y61	69	41	18	梢円形	105C 1面
P-27	X 307, Y61	103	91	23	梢円形	105C 1面
P-28	X 307~308, Y63	70	40	21	梢円形	105C 1面
P-29	X 308, Y63	69	27	15	梢円形	105C 1面
P-30	X312~313, Y62	83	82	18	円形	105C 1面
P-31	X 314, Y63	60	44	17	梢円形	105C 1面
P-32	X 314, Y63	71	50	11	梢円形	105C 1面
P-33	X 319, Y61	43	34	14	梢円形	105D 1面
P-34	X 325, Y61	44	35	14	梢円形	105D 1面
P-35	X 327, Y60~61	90	47	10	梢円形	105D 1面
P-36	X 329, Y60	65	48	36	梢円形	105D 1面
P-37	X 264, Y62	30	27	11.5	梢円形	105A 2面2トレ
P-38	X 267, Y62	28	23	10	梢円形	105A 2面2トレ
P-39	X 270, Y62	40	33	45	梢円形	105A 2面2トレ
P-40	X 276, Y62	23	20	10	梢円形	105A 2面2トレ
P-41	X 283, Y62	30	25	8	梢円形	105A 2面2トレ
P-42	X 284, Y62	22	21	5	円形	105A 2面2トレ
P-43	X 284, Y62	55	53	21	円形	105A 2面2トレ
P-44	X 284, Y62	[49]	35	7	梢円形	105A 2面2トレ
P-45	X 284, Y62	40	35	4	梢円形	105A 2面2トレ
P-46	X 284, Y63	[15]	[10]	[5]	梢円形	105A 2面2トレ



第6図 10区A1面、2面2トレンチ実測図



第7図 10区B・C1面、2面3・4トレンチ実測図



第8回 10区D1面表題

(3) 11区1面A・B・C、11区2面 5・6・7トレンチ [第9~11図、版5~7]

調査区の南側に位置する。1面で検出した遺構はAs-B水田、溝、ピット、土坑などがある。遺構の確認面は、現地表から18~43cm下である。As-B水田は、浅間B軽石が2~5cm程の厚さで検出され、その下からA・B・C調査区で水田跡が計31面検出された。区画の規模は[0.09~82.22]m²を測る。また、区画する畦畔は全体で計44本検出され上幅[13~250]cm、下幅[30~281]cmを測り、そのうちのB調査区4・5号畦畔、C調査区31・32号畦畔は大畦畔である。水田面の標高は、11区Aの1号水田の標高76.39m~11区Cの30号水田の標高75.92mで比高差47cmを測り、1号水田から30号水田への配水を考えられる。また、水口はB調査区で2ヶ所検出された。A・B調査区では圃場整備や耕作機械等による掘削のため、遺構面までの痕跡が残る状況が見られる。溝はA・B・C調査区で、W-1~10号までの10条検出しW-1・6号を除き、いずれも南北方向に位置し、W-2・6・7・10号はAs-B軽石で埋まっている。また、W-2・10号は大畦畔に伴う溝である。その他の溝はAs-Bテフラ層を掘り込むものや圃場整備以前のものと思われる。ピットは、B・C調査区、5トレ調査区で、計7基(P-6号は欠番)検出し、P-7号は、As-B軽石で埋まっていた。その他はAs-B軽石を多く含むものや、As-A軽石の混入するもので中世から近世と思われる。土坑は、C調査区で1基検出されたが、近代の鉄片を伴うもので新しい。2面では、1面から18~22cm下のAs-C軽石を含む泥土層を確認面とした。検出した遺構は、11区5トレからW-11号を検出した。圃場整備や耕作機械等の痕跡が残るため時期等は、はっきりしないが一部壁面からは、As-Bテフラ層からの掘り込みが推測される。ピットは、11区5トレからP-8号を検出した。覆土にAs-C軽石を含む。

11区1面A・B・C、2面5・6・7トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第11表 水田計測表

()は推定値、〔 〕は検出値を表す。

水田No	面積(m ²)	東幅(m)	西幅(m)	南幅(m)	北幅(m)	備考
1	[16.18]			[13.70]		11区A1面
2	[20.66]	[0.42]			[13.70]	11区A1面
3	[0.51]		[0.42]			11区A1面
4	[68.46]	[3.27]		[14.83]		11区B1面 東側大畦畔
5	[37.54]	[4.76]			[14.83]	11区B1面 東側大畦畔
6	[27.08]	[4.91]		[5.90]		11区B1面
7	[98.05]	[3.08]			[5.90]	11区B1面 W-2~7と重複
8	[96.59]	[2.16]		[7.99]	[11.34]	11区B1面 W-7と重複
9	[1.55]		[1.55]	[4.65]		11区B1面
10	[55.08]		[7.94]		[15.99]	11区B1面
11	[12.25]	[2.15]	[1.86]	[7.95]		11区B1面
12	[12.49]	[3.62]	[2.51]	[5.47]		11区B1面
13	[64.27]	[4.53]	[6.06]		[13.42]	11区B1面
14	[52.15]	[8.14]	[8.15]			11区B1面
15	[21.16]	[2.85]	[3.08]	10.49		11区B1面 W-8重複
16	[51.41]	[5.82]		10.40		11区B1面 W-8重複
17	[1.83]		[1.24]	[11.86]		11区B1面
18	[89.17]	[7.53]	[5.82]		[11.86]	11区B1面
19	[5.25]		[7.53]			11区B1面
20	[1.89]			[3.82]		11区C1面
21	[30.89]	[1.35]		[12.35]	[3.82]	11区C1面
22	[68.99]	[7.47]			[15.71]	11区C1面 東側大畦畔
23	[58.92]	[3.55]	[6.18]	18.59		11区C1面 西側大畦畔
24	[41.89]	[4.28]	[1.68]		18.59	11区C1面 西側大畦畔
25	[82.22]	[7.84]	[7.83]			11区C1面
26	[67.49]	[7.38]	[7.84]	[10.55]		11区C1面
27	[28.49]	[8.16]	[5.96]	5.05		11区C1面
28	[2.78]		4.04	[1.39]		11区C1面
29	[6.03]	[1.59]	1.88		5.95	11区C1面
30	[12.35]		[5.71]		[1.39]	11区C1面
31	[0.09]				(10.55)	11区C1面 南壁側に僅かに水田面検出

第12表 畦畔計測表 ()は推定値、〔 〕は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

畦畔No	グリッド	上幅(cm)	下幅(cm)	畦畔の高さ(cm)	走行			
					北側	南側	東側	西側
1	X288~291, Y117	[17~19]	[58~62]	[0.5~1.5]	[1.0~4.5]		E-W	11区A1面
2	X291, Y117		[89]			[0.5]	N-S	11区A1面

柱番 No	グリッド	上 幅 (cm)	下 幅 (cm)	畔野の高さ(cm)				走行 備考
				北側	南側	東側	西側	
3	X303~307, Y117~118	[28~37]	[47~80]	[2.5~6.0]	[1.0~7.0]		E~W	11区B1面
4	X306~307, Y116~118	[35~165]	[165~200]		[1.5]	[1.0]	N~S	11区B1面
5	X307, Y117~118	[156~170]	[158~210]		[0.5~3.5]	[1.0~6.0]	N~S	11区B1面
6	X310~312, Y117	[26~36]	[69~73]	[0.5~2.0]	[0.5~1.5]		E~W	11区B1面
7	X312, Y116~117	[29~30]	[72~95]		[0.5~3.0]	[0.5~3.0]	N~S	11区B1面
8	X312, Y117~118	[27~28]	[67~80]		[0.5~1.0]	[1.0~2.0]	N~S	11区B1面
9	X314~316, Y116~118	[29~45]	[55~77]	[0.5~2.0]	[1.0~2.5]		E~W	11区B1面
10	X316, Y116	[77~102]	[107~127]		[1.5~2.5]	[2.0~2.5]	N~S	11区B1面
11	X316~317, Y116	[55~70]	[84~104]	[0.5~1.0]	[1.5~3.0]		E~W	11区B1面
12	X317, Y116	[60~72]	[90~110]		[0.5~1.0]	[2.5~3.0]	E~W	11区B1面
13	X317~319, Y116	[35~57]	[63~86]	[1.0~2.5]	[2.0~3.0]		E~W	11区B1面
14	X317~318, Y116~118	[52~84]	[85~123]		[3.0~3.5]	[1.0~3.0]	N~S	11区B1面
15	X319~320, Y116	[35~45]	[72~83]		[1.5~2.5]	[0.5~2.0]	N~S	11区B1面
16	X319~321, Y116~117	[39~41]	[62~74]	[1.5~2.5]	[0.5~2.0]		E~W	11区B1面
17	X321, Y116~117		[52~62]				N~S	11区B1面
18	X321, Y117~118		[70~75]				N~S	11区B1面
19	X323, Y116	[31~43]	[71~93]		[1.0~2.0]	[1.5~2.0]	N~S	11区B1面
20	X323~325, Y117~118	[35~50]	[78~91]		[3.0~4.0]	[0.5]	N~S	11区B1面
21	X323~325, Y116	[17~33]	[58~78]	[0.5~2.5]	[0.5~3.0]		E~W	11区B1面
22	X325, Y116~118	[42~60]	[69~80]		[1.0~1.5]	[0.5]	N~S	11区B1面
23	X325, Y116	[45~80]	[70~110]		[0.5]	[0.5~1.0]	N~S	11区B1面
24	X325~326, Y116		[79~93]		[0.5]		N~S	11区B1面
25	X325~326, Y116	[18~46]	[52~85]	[0.5~2.0]	[1.0~3.5]		E~W	11区B1面
26	X326~328, Y116~117	[22~37]	[45~68]		[1.0~4.0]	[0.5~2.5]	N~S	11区B1面
27	X331~332, Y115~116	[20~35]	[43~65]	[0.5~2.5]	[0.5~2.0]		N~S	11区C1面
28	X331~334, Y116~117	[13~63]	[30~101]	[1.5~3.5]	[2.0~4.5]		N~S	11区C1面
29	X334, Y115~116	[433]	[484]		[1.0~2.5]	[2.0~4.0]	N~S	11区C1面
30	X334~338, Y115~116	[103~175]	[121~188]				N~S	11区C1面
31	X335, Y115~117	[240~249]	[255~281]		[1.0~1.5]	[5.5]	N~S	11区C1面
32	X335, Y117	[250]	[285]		[2.0~2.5]	[3.0~3.5]	N~S	11区C1面
33	X335~340, Y116~117	[44~55]	[84~120]	[1.0~3.0]	[2.0~4.5]		E~W	11区C1面
34	X340, Y115~116	[55~58]	[110~118]		[1.0~4.0]	[1.0~3.5]	N~S	11区C1面
35	X340, Y116~117	[45~65]	[105~120]		[1.5~3.5]	[0.5~2.0]	N~S	11区C1面
36	X343, Y115~117	[140~158]	[178~210]		[1.0~4.5]	[0.5]	N~S	11区C1面
37	X343~346, Y117	[27~32]	[57~63]	[0.5~4.0]	[1.0]		E~W	11区C1面
38	X346~348, Y115~116	[27~55]	[65~95]		[2.0~3.5]	[0.5~1.0]	N~S	11区C1面
39	X346~348, Y116~117	[25]	[63]		[4.0]	[0.5]	N~S	11区C1面
40	X346, Y116~117	[26~33]	[48~60]	[0.5~4.0]	[0.5~2.0]		E~W	11区C1面
41	X347, Y114~115	[31~41]	[75~80]		[2.0~4.5]	[2.0~4.0]	N~S	11区C1面
42	X347, Y115	[25~50]	[65~93]	[3.0~4.0]	[2.0~3.0]		E~W	11区C1面
43	X347, Y115~116	[36~37]	[75~81]		[1.5~4.0]	[0.5~1.5]	N~S	11区C1面
44	X347, Y116~117	[35~43]	[67~84]		[2.5~3.0]	[1.0~1.5]	N~S	11区C1面

No.3 東側大畔野、No.4、5、31、32大畔野。No.6 水口あり、No.21W~8~と重複

第13表 溝計測表 []は検出値、E~W~N~Sは東西南北を表す。

溝 No	通構位置	長さ(cm)	深さ(cm)	底のレベル(cm)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備考
1	X288~296, Y117	7.78	W10.5, E4.5	E76.30, W76.27	3.85	22~82	10~30	E~W	11区A1面
2	X307, Y116~118	7.10	N2.5, S3.5	N76.30, S76.26	4.93	29~40	9~16	N~S	11区B1面
3	X307~308, Y116~118	[8.15]	[N2.5, S18.5]	[N76.21, S76.02]	[23.31]	[60~130]	[45~113]	N~S	11区B1面
4	X307~308, Y116~118	[8.08]	[N42.5, S37]	[N75.96, S75.90]	[7.42]	[130~450]	[30~45]	[N~S]	11区B1面
5	X308, Y116~117	[2.5]	[16]	[N76.10]		[67]			11区B1面
6	X308~311, Y116~118	[15.30]	[N3.5, S6	[N76.21, S76.18	1.96	39~47	12~24	N~S	11区B1面
7	X313, Y116~118	7.90	N3.5, S2.5	N76.22, S76.21	0.65	67~92	24~45	[N~S]	11区C1面
8	X324, Y116~117	7.92	N14.5, S13	N76.02, S75.99	3.78	45~60	18~23	[N~S]	11区C1面
9	X335, Y115~117	7.85	N33, S3.8	N75.64, S75.60	5.09	134~160	15~30	N~S	11区C1面
10	X342, Y115~117	7.95	N5.5, S4	N76.05, S76.02	3.77	107~116	42~59	N~S	11区C1面
11	X276~277, Y118	3.8	N16, S14	N76.61, S75.97	10.52	55~70	38~48	S~N	11区A1面5トレ

W~2は大畔野の拂、W~3~5は差し行重複している。

第14表 ピット計測表

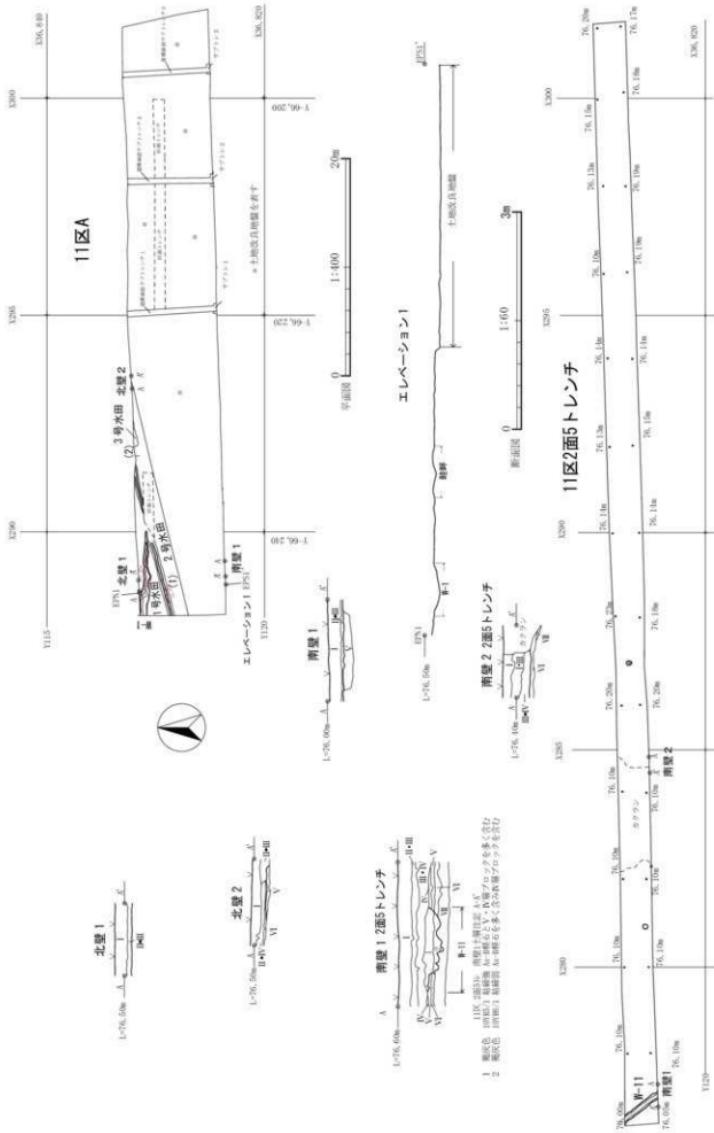
()は推定値、[]は検出値を表す。

ピット番号	通構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形 状	備 考
P~1	X308~309, Y117	46	31	10	梢円形	11区B1面
P~2	X337, Y116	60	45	21	梢円形	11区C1面
P~3	X341, Y115	[55]	[25]	[9]	(梢円形)	11区C1面
P~4	X364, Y116~117	66	58	15	梢円形	11区C1面
P~5	X325, Y116	60	55	38	梢円形	11区B1面
P~6	欠番					
P~7	X280, Y118	45	43	15	円形	11区A2面5トレ
P~8	X286~287, Y118	50	38	16	梢円形	11区A2面5トレ

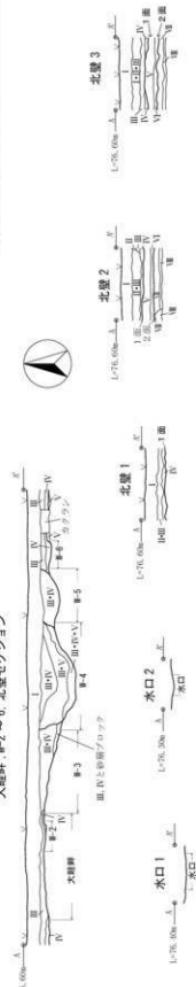
第15表 土坑計測表

[]検出値を表す。

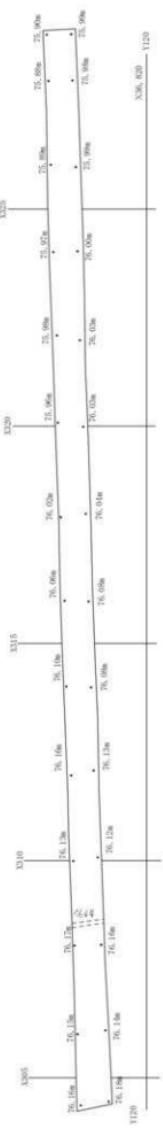
土坑番号	通構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形 状	備 考
D~1	X335, Y115	[122]	[90]	47	北側調査区外	11区C1面



第9図 11区A1面、2面5トレンチ実測図



11区2面6トレンチ



第10図 11区B1面、2面6トレンチ実測図

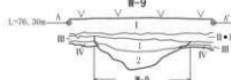


平面図 0 1:400 20m

大畦畔, D-1, W-10



11区 C1面 大畦畔, W-10, D-1北壁上層注記 A-A'
1 从黃褐色 10YR5/2 粘土中 Aa-Bt (d 1~3mm) を多く含む
2 从黃褐色 10YR5/2 粘土中 I+II層に V, V层'を多く含む



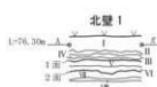
W-9 上層注記 A-A'
1 褐灰色土10YR4/1 粘土中 I+II層を含む
2 褐灰色土10YR4/1 粘土中 II層を多く含み無機物を含む

北壁 2

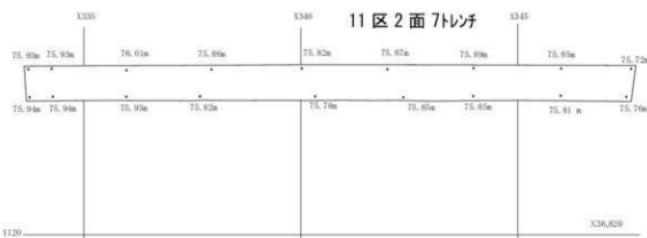


北壁 2 上層注記 A-A'

Va V層上り Aa-C種石 (d 1~2mm) を多く含む



断面図 0 1:60 3m



第11図 11区C 1面、2面7トレンチ実測図

(4) 12区1面、12区2面 8・9トレンチ [第12・13図、図版8・9]

調査区は、西側の12区1面とその北側に8トレ、南側に9トレに分かれて位置する。1面で検出した遺構はAs-B水田、溝、2面はピット、土坑などがある。1面の遺構確認面は、現地表から22~45cm下である。As-B水田は8トレ内で浅間B軽石が2~5cm程の厚さで検出され、その下から水田跡が10面検出された。区画の規模は[1.33~42.72]m²を測る。また、区画する畦畔は全体で計11本検出され上幅[14~102]cm、下幅[37~139]cmを測り、水田面の標高は、12区8トレ1号水田の標高77.97m~10号水田の標高77.65mで比高差52cmを測り、1号水田から10号水田への配水が考えられる。また、水口等は検出されなかった。溝は12区1面、12区1面8・9トレ内、W-2~9号(W-1・W-7号は欠番)までの7条検出しW-5・6・9号の東西方向を除き、いずれも北西か、北東方向からである。また、W-4・5・8・9号はAs-B軽石で埋まっている。その他の溝はAs-Bテフラ層を掘り込むものや、圃場整備以前のものと思われる。さらに欠番としたW-1号(規模、幅402~503cm、深さ32~33cm)は、検出時As-B軽石の堆積することで溝としたが、流水時に堆積する砂層等が見られないことや、2面の調査では、南側が微高地状でピット、土坑等の検出があることで、谷地状の落ち込みと推測した。2面では、1面から12~16cm下のAs-C軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、12区9トレからP-1~7号とD-1・2号を検出した。そのなかでP-4号(No12)からは、4世紀後半と思われる土器片が出土した。また、土坑のD-1号(No14~16)・2号(No17)からは、4世紀~5世紀代に位置すると思われる土器の出土があった。いずれもAs-B軽石の検出されないところで、もともとは、微高地状であったことが推測され、水田は検出されなかった。

12区1面、12区2面8・9トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第16表 水田計測表

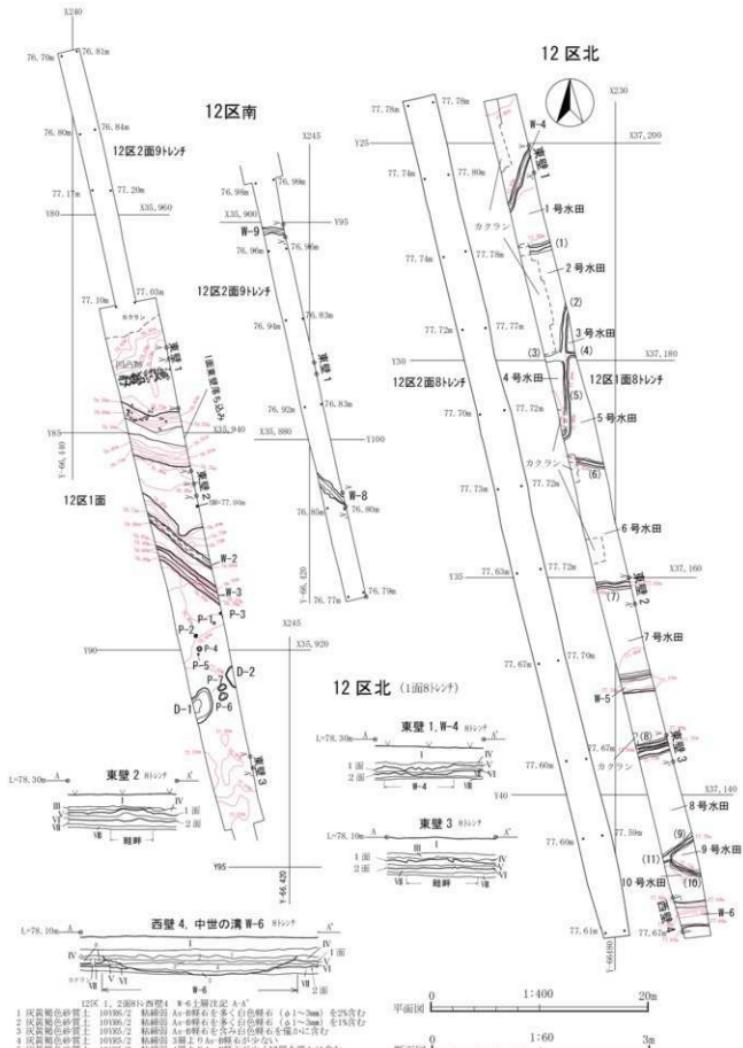
水田No	面積(m ²)	東畔(m)	西畔(m)	南幅(cm)	北幅(cm)	備考		[]検出值を表す。
						12区1面8トレ(北側)	W-4と重複	
1	[41.57]			[3.97]				
2	24.47	[4.37]		[1.62]	[3.97]	12区1面8トレ(北側)		
3	[1.33]			[1.09]		12区1面8トレ(北側)		
4	[5.82]	[7.59]			[1.62]	12区1面8トレ(北側)		
5	18.28			[7.59]	[3.32]	12区1面8トレ(北側)		
6	33.25				[3.03]	[3.32]	12区1面8トレ(北側)	
7	42.72				[2.98]	[3.03]	12区1面8トレ(北側)	W-5と重複
8	25.91				[2.98]	[3.03]	12区1面8トレ(北側)	
9	[3.92]	北東[2.85]	北西[3.49]		[3.34]		12区1面8トレ(北側)	
10	[17.37]	北東[0.49]	北西[3.49]				12区1面8トレ(北側)	W-6と重複

第17表 畦畔計測表 ()は推定値、[]は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

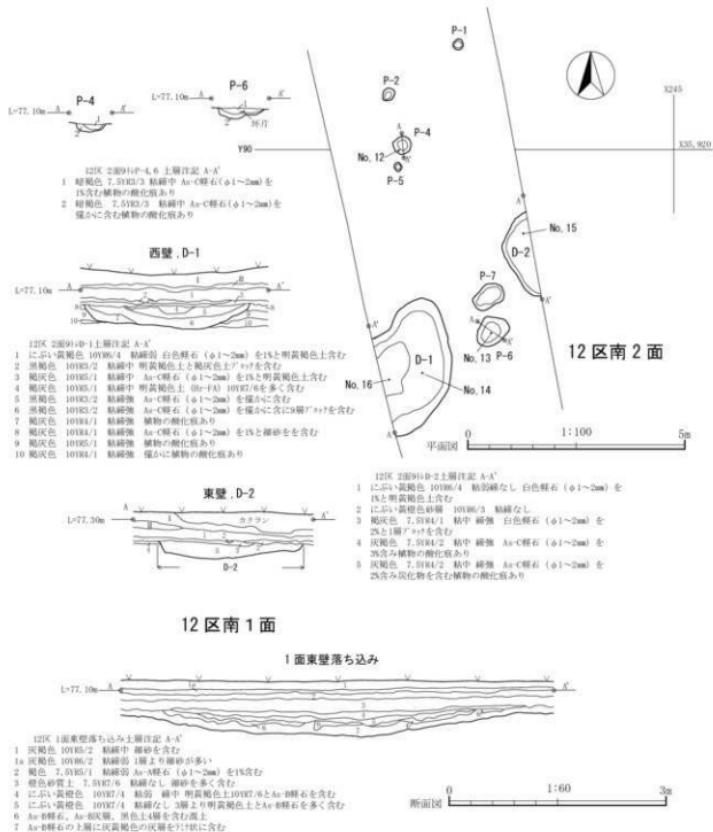
畦畔 No	グリッド	上幅 (cm)	下幅 (cm)	北側 (cm)	南側 (cm)	東側 (cm)	西側 (cm)	畦畔の高さ(cm)		走行	備考
								北側	南側		
1	X 227・228・Y 27	[29~31]	[77~88]	[1.0~2.5]	[3.5~4.5]					E-W	12区1面8トレ
2	X 228, Y 28・29	[30~35]	[54~65]					[1.0~2.5]	[1.5~2.5]	N-S	12区1面8トレ
3	X 228, Y 29・30		[52~75]							E-W	12区1面8トレ
4	X 228・229・Y 29	[24~25]	[55~60]	[2.0]	[4.0]					E-W	12区1面8トレ
5	X 228, Y 29~31	[16~25]	[42~70]					[4.5~7.0]	[3.0~5.0]	N-S	12区1面8トレ
6	X 228・229・Y 32	[27~27]	[57~67]	[1.0~3.0]	[3.5~7.5]					E-W	12区1面8トレ
7	X 229・230・Y 32	[22~38]	[60~75]	[2.5~5.0]	[5.0~7.0]					E-W	12区1面8トレ
8	X 230・231, Y 38~39	[99~102]	[130~139]	[1.0~2.0]	[1.5~2.5]					E-W	12区1面8トレ
9	X 231, Y 40~41	[20~28]	[44~70]	[1.5~2.5]	[4.0~5.0]					SW-NE	12区1面8トレ
10	X 231, Y 41	[14~24]	[37~57]					[2.0~2.5]	[4.0~5.0]	SE-NW	12区1面8トレ
11	X 231, Y 41	[50]	[75]	[2.5]	[1.5]					SW-NE	12区1面8トレ

第18表 溝計測表 ()は推定値、[]は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

溝 No	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(cm)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備考	
									上幅(cm)	下幅(cm)
1	欠番W-1 谷底状になる									12区1面
2	X 241~243, Y 84~88	[7.98]	W6.5, E 4	W76.77, E76.75	[2.50]	[53~58]	[24~25]	W-E	12区1面	
3	X 241~243, Y 87~88	6.95	W24.5, E 23.5	W76.57, E76.55	2.87	93~109	30~49	W-E	12区1面	
4	X 227~228, Y 25~26	5.8	N 8, S 5.5	N77.87, S77.85	3.44	49~64	29~30	N-S	12区1面8トレ	
5	X 230, Y 37	2.97	E 8.5, W10	W77.71, E77.70	3.36	135~156	95~105	W-E	12区1面8トレ	
6	X 231~232, Y 42~43	2.75	E 11.5, W19	E77.55, W77.50	18.18	215~235	155~165	E-W	12区1面8トレ	
7	欠番									
8	X 225, Y 100~101	3.15	E 9.8, W13	W76.84, E76.83	3.17	80~105	40~80	W-E	12区1面8トレ	
9	X 243~244, Y 95	1.95	E 7, W8.5	W77.00, E76.99	5.12	53~65	17~25	W-E	12区1面8トレ	



第12図 12区、1面8トレチ、2面8・9トレチ実測図



第13図 12区1面、2面9トレンチ実測図

第19表 ピット計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形 状	備 考
P-1	X243, Y89	25	22	25	ほぼ円形	12区2面9トレ
P-2	X242, Y89	33	27	14	楕円形	12区2面9トレ
P-3	X243, Y89	[29]	[20]	[10, 5]	(楕円形)	12区2面9トレ東側調査区外
P-4	X242, Y89	44	44	11	円形	12区2面9トレ遺物出土
P-5	X242, Y90	23	23	10	円形	12区2面9トレ
P-6	X243, Y90・91	42	32	16	楕円形	12区2面9トレ遺物出土
P-7	X243, Y90	80	53	17	楕円形	12区2面9トレ

第20表 土坑計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形 状	備 考
D-1	X242・243, Y90・91	[221]	[182]	[38]	(楕円形)	12区2面9トレ西側調査区外
D-2	X243, Y90	[203]	[73]	[22, 5]	(楕円形)	12区2面9トレ東側調査区外

(5) 13区2面 11・12・13トレチ (第14図、図版9・10)

調査区の、南西側に位置する。2面で検出した遺構は、溝1条がある。2面の遺構確認面は現地表から28~40cm下である。また、As-Bテフラ層は12トレで8cm程の堆積が見られたが、その他は、圓場整備等で整地されていることで、11・13トレなどは検出されない部分がほとんどである。溝は、13区2面13トレで、W-1号を検出した。この溝は、11区5トレで検出したW-11号と同様にAs-B軽石を含み、北西から南東方向に見られるもので同じ溝と思われ、平安時代から中世頃と思われる。また、溝以外には、遺構の検出はなかった。

13区2面13トレの溝計測値は、計測表にまとめて報告する。

第21表 溝計測表 ()は推定値、[]は検出値。E-W-N-Sは東西南北を表す。

溝 No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備 考
1	X280, Y124	3.5	N20, S8.5	N75.98, S75.97	2.85	[68]	[35]	(S-N)	13区2面13トレ

(6) 14区1面、14区2面14トレチ (第14図、図版10)

調査区の南側に位置する。1面で検出した遺構は、As-B水田、溝、土坑などがある。1面の遺構確認面は現地表から28~36cm下である。As-B水田は浅間B軽石が2~5cm程の厚さで検出され、その下から水田跡が15面検出された。区画の規模は[2.07~48.19]m²を測る。また、区画する畦畔は全体で計21本検出され、上幅17~[115]cm、下幅51~[120]cmを測り、水田面の標高は14区1面1号水田の標高75.89m~15号水田の標高75.63mで比高差26cmを測り、1号水田から15号水田への配水を考えられる。また、水口等は検出されなかった。溝は、W-1~3号までの3条検出しW-1号は、東から西へ向かいL字状に南方向へ曲がる。覆土は、As-B軽石で埋まっている。その他の溝は、南北方向で、基本土層のII層からAs-Bテフラ層を掘り込んでいる、近世と思われるものである。土坑は1基検出した。As-B軽石を多く、明黄褐色土を僅かに含むもので中世頃と思われる。2面では、1面から13~15cm下のAs-C軽石を含む泥土層を確認面とし、遺構確認を行ったが遺構の検出はなかった。

14区1面の各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第22表 溝計測表 []は検出値。E-W-N-Sは東西南北を表す。

溝 No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備 考
1	X349~351, Y131~134	14.30	E12.5, S12	E75.60, S75.57	2.09	39~47	13~20	E-S	14区1面
2	X345, Y131~134	9.35	N20.5, S21.5	N75.58, S75.57	1.06	69~75	28~35	N-S	14区1面
3	X342~343, Y131~134	8.95	N31.5, S27	N75.51, S75.50	[1.11]	110~136	40~58	N-S	14区1面

第23表 土坑計測表

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形 状	備 考
D-1	X344~345, Y132	124	85	16	楕円形	14区1面

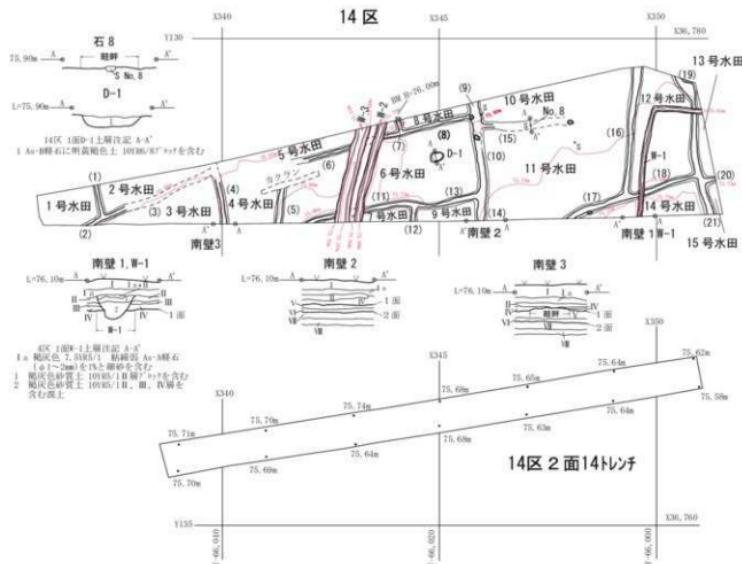
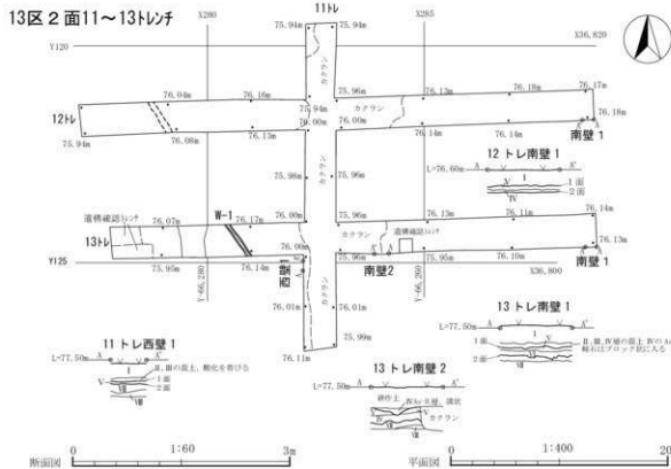
第24表 水田計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

水田No	面積(m ²)	東畔(m)	西畔(m)	南畔(m)	北畔(m)	備考
1	[16.31]	[2.98]		[1.45]	14区1面	
2	(17.27)	[0.62]	[2.98]	(11.15)	14区1面	
3	(24.32)	[5.02]			[12.70]	14区1面
4	(32.05)	[3.19]	[5.80]			14区1面
5	(12.39)	[1.23]		(10.13)	14区1面	
6	(102.72)	[7.30]	[3.19]	[16.30]	[17.40]	14区1面
7	[6.22]	[1.47]			[9.92]	14区1面
8	[4.81]	[1.16]	[1.23]	7.03		14区1面
9	[7.21]	[7.35]	[1.47]		6.38	14区1面
10	(43.73)	[3.52]	[2.20]	[8.50]		14区1面
11	(100.81)	[11.70]	[8.70]	[5.52]	(8.30)	14区1面
12	[48.19]	[9.37]	[11.70]	[6.95]		14区1面
13	[4.64]		[9.97]	[1.28]		14区1面
14	[19.35]	[3.75]			[12.50]	14区1面
15	[2.07]		[3.10]		[1.28]	14区1面

第25表 畦畔計測表 ()は推定値、[]は検出値、E-W-N-Sは東西南北を表す。

畦畔 No	グリッド	上 傾 (cm)	下 傾 (cm)	畦畔の高さ(cm)				走行 備考
				北側	南側	東側	西側	
1	X336・337, Y134	[35~39]	[75]	[3.5~4.5]	[4.0~4.5]			E-W
2	X337, Y131・134	[24~30]	[60~74]			[1.0~1.5]	[2.5~3.0]	N-S
3	X336~339, Y133・134	[27~35]	[69~75]	[1.5~4.5]	[1.5~4.5]			E-W
4	X339・340, Y133・134	[30~36]	[70~75]			[1.5~2.5]	[1.0~2.5]	N-S
5	X340, Y131・134	[39~49]	[75~80]			[2.0~3.5]	[1.0~1.5]	14区1面
6	X341~344, Y132	[22~30]	[54~56]	[1.0~1.5]	[1.0~1.5]			E-W
7	X344, Y131・132	[39~40]	[66~75]			[1.0~1.5]	[0.5~1.0]	14区1面
8	X344・345, Y131・132	[21~28]	[60~70]	1.0~2.5	1.0~2.5			E-W
9	X345, Y131	[78~115]	[80~120]			[0.5~1.5]	[0.5~1.5]	14区1面
10	X345~346, Y131~133	[45~70]	[96~115]			0.5~2.0	0.5~1.5	N-S
11	X341~344, Y133・134	[30~44]	[57~74]	[0.5~2.0]	[0.5~2.0]			E-W
12	X344, Y131・134	[35~36]	[68~70]			[1.0~4.0]	[0.5~1.0]	N-S
13	X344・345, Y133	[17~45]	[51~80]	2.0~3.0	1.0~4.0			14区1面
14	X345~346, Y133~134	[52~65]	[102~120]			[1.0~2.5]	[1.0~3.0]	N-S
15	X346~347, Y131・132	[32]	[75~82]	[0.5~2.0]	[0.5~1.5]			E-W
16	X349, Y130~133	[35~72]	[70~105]			[0.5~3.0]	[0.5~1.0]	14区1面
17	X347~348, Y133~134	[37~55]	[72~95]	[1.0~1.5]	[3.0~3.5]			E-W
18	X349~350, Y133	[25~35]	[60~72]	[0.5~1.0]	[1.5~3.0]			14区1面
19	X350~351, Y130~133	[30~110]	[60~150]			[1.0~1.5]	[1.0~3.0]	N-S
20	X351, Y133	[26~40]	[60~80]	[2.0~5.5]	[2.0~4.0]			E-W
21	X350~351, Y133~134	[54~56]	[92~103]			[0.5~3.5]	[0.5~2.0]	N-S
								14区1面



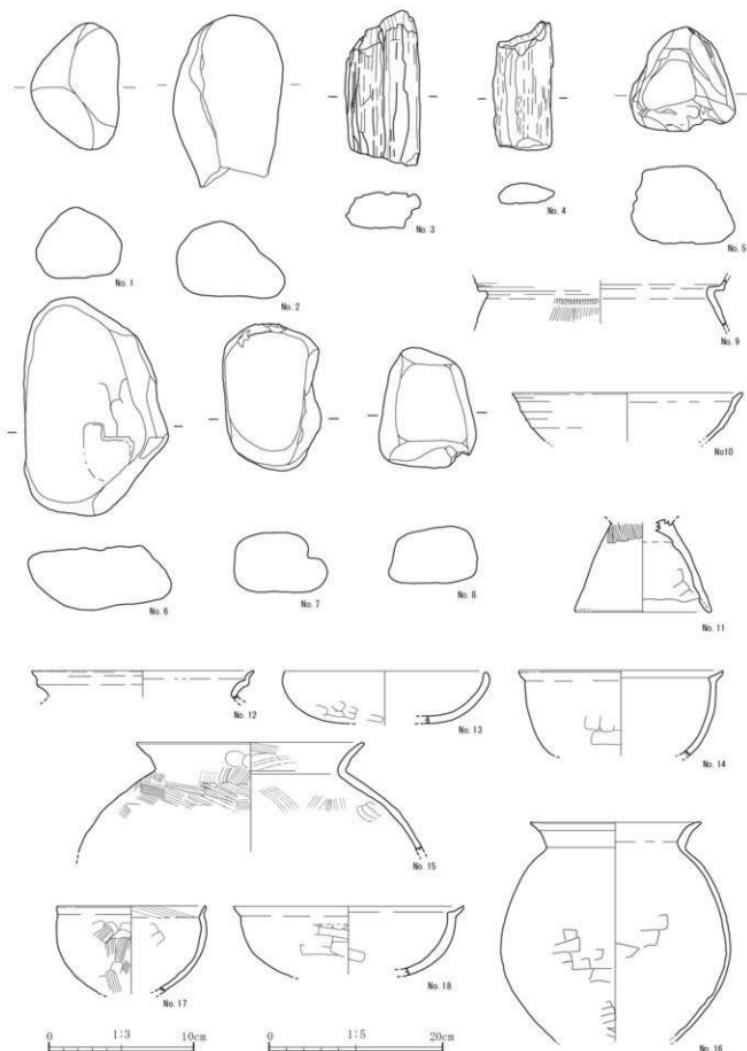
第14図 13区2面11～13トレチ、14区1面、2面14トレチ実測図

第26表 出土遺物観察表

遺物番号	台帳番号	器種	法量(cm)	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	実測図	図版
1	9区1面S-1	石	長さ14.4 幅10.0 厚さ8.1 重さ1,480g	④完形。安山岩、水田面の石		15	11
2	10区A1面S-2	石	長さ19.8 幅12.0 厚さ8.9 重さ2,420g	④一部欠、安山岩、2面使用か、畦畔上の石		15	11
3	10区C1面S-3	石	長さ13.0 幅8.6 厚さ4.2 重さ920g	④崩壊欠、鉋彫、結晶片岩、大蛭畔上の石		15	11
4	10区C1面S-1	石	長さ14.8 幅7.0 厚さ2.5 重さ560g	④崩壊欠、結晶片岩、水田面の石		15	11
5	10区D1面S-5	石	長さ12.0 幅12.2 厚さ9.0 重さ1,480g	④完形。玄武岩、畦畔上の石		15	11
6	10区D1面S-4	石	長さ25.2 幅16.6 厚さ7.5 重さ4,200g	④一部剥離ほぼ完形、安山岩、畦畔上の石		15	11
7	10区D1面S-6	石	長さ16.9 幅11.2 厚さ7.0 重さ2,220g	④完形。安山岩、3面使用か、畦畔上の石		15	12
8	14区1面S-1	石	長さ13.7 幅11.2 厚さ6.6 重さ1,580g	④ほぼ完形、安山岩、推定畦畔上の石、2面使用か		15	12
9	10区A1面W-10一括	甕	③[3.0]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR6/3によい赤褐色④口縁～胴部片	土師器、S字状口縁、外面口縁部ヨコナダ、部割ハケ目、内面ナダ、4世紀中～後半	15	12
10	10区B1面W-7一括	甕	①(16.0)③[3.3]	①細粒、白色粒②良好、還元③N6/灰④口縁片	須恵器、口縁部短く外反、体部内溝して外傾、ロクロ、9世紀後半	15	12
11	11区A2面5トレーX280、Y118グNo1	台付甕 台部	②(9.4)③[6.4]	①細粒、白色粒、石英②良好、酸化③7.5YR7/3によい橙5/部3/4強	土師器、外面、台部上位にハケ目、内面、折り返し、ナダ、4世紀後半	15	12
12	12区9トレ2面P-4No1	甕	①(15.4)③[1.9]	①細粒、中粒、白色粒、②良好、酸化③7.5YR6/3によい薄④口縁片	土師器、口縁部S字状、内外面ヨコナダ、4世紀後半	15	12
13	12区9トレ2面P-6No1	甕	①(14.0)③[3.6]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR5/6明赤褐④口縁～体部片1/4	土師器、体部～口縁にかけて丸味を持つ、外面ヘラ削り後ナダ、内面ナダ、8世紀代	15	12
14	12区9トレ2面D-1No8	甕	①(14.2)③[6.0]	①細粒、白色粒、墨色粒②良好、酸化③2.5YR5/6明赤褐④口縁～体部片	土師器、口縁部短く外反、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナダ、体部ヘラ削り後ナダ、内面口縁部ヨコナダ、体部ナダ、5世紀前	15	12
15	12区9トレ2面D-1No11・D-2No1	甕	①(15.7)③[7.6]	①細粒、中粒、白色粒、石英、②良好、酸化③7.5YR7/4によい橙5/口縁～胴部上位1/2弱	土師器、口縁部「く」の字状に外反、胴部緩やかに丸味を持つ、外面口縁部ヨコナダ、指押え、頭部～胴部削りハケ目、ナメハケ目、内面口縁部ヨコナダハケ目、ナダ、頭部～胴部削りハケ目、ナダ、指押え、4世紀後～5世紀代	15	12
16	12区9トレ2面D-1No13	甕	①(19.6)③[25.3]④(26.5)	①細粒、白色粒②良好、酸化③5YR5/4によい赤褐④口縁～胴部1/3強	土師器、口縁部直立丸味に外反、胴部緩やかに丸味を持つ、外面口縁部ヨコナダ、頭部ヘラ削り後ナダ、内面口縁部ヨコナダ、胴部ナダ、5世紀代	15	12
17	12区9トレ2面D-2一括	塊か	①(10.4)③[6.0]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR7/2明赤褐④口縁～体部片	土師器、口縁部直立丸味に外反、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナダ、体部ハケ目、内面口縁部ヨコナダハケ目、ナダ、4世紀～5世紀代	15	12
18	12区9トレ2面一括	甕	①(16.0)③[4.8]	①細粒、石英、白色粒②良好、酸化③5YR5/4によい赤褐④口縁～体部1/5弱	土師器、口縁部短く外反、頭部の届曲は無い、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナダ、体部ヘラ削り後ナダ、内面口縁部ヨコナダ、体部ナダ、5世紀末～6世紀前	15	12

(注) 法量は①口径②底径③高さ④胴部最大径。()は推定、〔 〕は現存値を報告番号cm、遺物番号は報告書番号で9区から14区まで通し番号、台帳番号は調査出土地位置、Dは土坑、Pはピット、Wは溝、Sは石、グはグリッドを表す。

胎土は、細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0~1.9mm)、粗粒(2.0mm以上)とし、特徴的な胎土が入る場合に胎土名等を記載した。焼成は、極良、良好、不良の三段階とした。



第15図 9区～12区、14区1・2面出土遺物

No. 1～8・16 1/2 No. 9～15・17・18 1/2

VII まとめ

1 浅間Bテフラ下の水田と条里制について

前橋市台地の周辺では、大規模開発に伴い多くの古代水田の発掘調査が行われ、各時代ごとの水田跡が検出されている。その中で平安時代の水田跡は、律令制下の土地区画制度に基づく条里制があったことを裏付ける資料とされている。本遺跡を含め、浅間Bテフラ下の水田跡は周辺遺跡の南部拠点地区遺跡群No1・2（市調査団）、西田遺跡、村中遺跡、下阿内老町畠遺跡、下阿内前田遺跡（県事業団調査、以下「県調査」とする）などで検出されており、広範囲で確認されている。この時期の水田には条里制の土地割りを残している状況が考えられている。このため、水田の様相や地割り形態などの点について、周辺で検出された浅間Bテフラ下水田区画の大畦畔で1町方格（1町約109m）四方の条里地割図上や内部形態の長地型、半折型について本遺跡検出の大畦畔も含めて見ていく。

本遺跡の浅間Bテフラ下水田跡は、隣接する南部拠点地区遺跡群No1・2（市調査団）、下阿内老町畠遺跡、下阿内前田遺跡（県調査）の調査で検出したAs-B水田と同じであり、県調査では大畦畔（坪境畦畔）5本（1・3・4・7・8号大畦）と7本の大畦畔推定ライン上には中世、近世～近代の溝等が確認されている。

また、南部拠点地区遺跡群No2の7・8区でも南北方向の大畦畔が1本検出されている。本遺跡の水田については、1面9区13面、10区66面、11区31面、12区8トレ内10面、14区15面の全体で計135面（一部検出を含む）を検出した。B水田面を覆う浅間Bテフラ層（基本土層IV）は2～8cm程の堆積が見られるが、12区9トレ内の一帯微高地範囲や11区A調査区では、圃場整備のさいに削られたり、耕作機械により擾乱され、浅間Bテフラ層が耕作土にすき込まれている所もある。さらに圃場整備等で区画整備されているためか、現耕作土からB水田面までの堆積土層は浅い。水田区画の状態は、畦畔と水田面との比高差が0.5～9cmと小さく、不明な区画もある。また、道路部分の調査のため、東西の長さに比べ南北は幅が狭く、完全に1区画の面積を計測できるものは少ない。その中で1区画を測れる水田は全体で5面検出され、最小10区Aの22号水田で25.59m²、最大10区Aの7号水田で106.16m²などがあり、区画の大きさに変化が見られる。また、大畦畔は部分検出であるが、調査区9区1面（座標X36,754.00m、Y-65,837.00m）、10区A1面（座標X37,048.00m、Y-66,286.00m）・C（座標X37,052.00m、Y-66,175.00m）・D（座標X37,054.00、Y-66,064.00m）、11区B1面（座標X36,829.00m、Y-66,170.00m）・C（座標X36,833.00m、Y-66,059.00m）などの位置で、南北方向の大畦畔が計6本検出された。その畦畔位置を南北方向の条里区画割りに当てはめると、大畦畔から次の大畦畔までは、109m前後を測る。規模は全体で上幅[30]～281cm、下幅[47～341]cmで高さ1～9cmを測り、他の小畦畔と比べ規模が異なることがわかる。また、中央に小規模な溝があるのが特徴で小溝は、上幅25～116cm、下幅9～59cm、深さ2～10cmを測る。その現況は、本遺跡で検出した南北方向の大畦畔を座標の磁北に合わせると、N-2'～Wとなり2'西に傾く傾向が示され、他の、県調査などの大畦畔にもほぼ符号する。また、大畦畔区画内を区割りする小畦畔間隔については、東西方向では、斜め方向や曲線を描くものが多く見られ、南北方向では、調査範囲の関係で短いが、比較的直線状に延びる状況が見られる。その中で、東西方向では10区7・49・61号水田の北側畦畔で、18.10m～20.29m、11区24号水田の北側畦畔で、18.59mを測るものがあり、12間（21.8m）に近い畦畔も見られた。また、周辺の調査で見られる水田区画からは、東西方向を区画する南北方向畦畔の間隔は細分された状態で比較的短いものが見られ、東西方向畦畔では、南北方向に比べ長い傾向が見られることで、東西に細長い区画が推測される。条里制区画が薄れた状況であるが、半折型に近い区画があつたことが

推測される。また、本遺跡の9区、10区D、11区B内の大畦畔には南北方向の中世、近世～近代と思われる溝と重複しており、南部拠点地区遺跡群No 2 の7・8区南側のW-3号溝も同じ状況が見られる。さらに東西方向では、県調査の11号大畦畔推定ライン上に確認された中世、近世～近代の溝（下阿内前田遺跡の1号溝・2a・2b号溝）が構築されている状況などは、方向が異なるもののともに類似しており、検出した大畦畔や県調査の推定大畦畔ラインの位置には、後世で溝が作られたことが推測される。水口については、畦畔と水田面との比高差から見て低い畦畔が多い中で、10区Aで1ヵ所、11区Bで2ヵ所の計3ヵ所を検出した。流水方向は北、西からで水田面の比高差と同じである。さらに水田面には、凹凸面や足跡等の痕跡が見られ、その中で9区1面からは、南北方向に馬の足跡列が検出された。その大きさは、径15～16cm、幅10～11cm、深さ3～5cmの跡が残る。また、水田に引水するための水路等は、浅間Bテフラで埋まつた数条の溝が検出されたが部分検出のため状況のみの記載であり、調査区全体で、標高差に限って見ると、北西側の12区1面8トレの1号水田で標高77.95m、南東側の14区15号水田で標高75.63mを測り、さらに東側の9区11号水田で標高75.09mとなり全体に、北西側12区から南東方向14区へ配水し、さらに東側の9区へと流れたことが推測できる。また、河川からの引水については、調査区東側に位置する端気川、藤川等からが推測される。

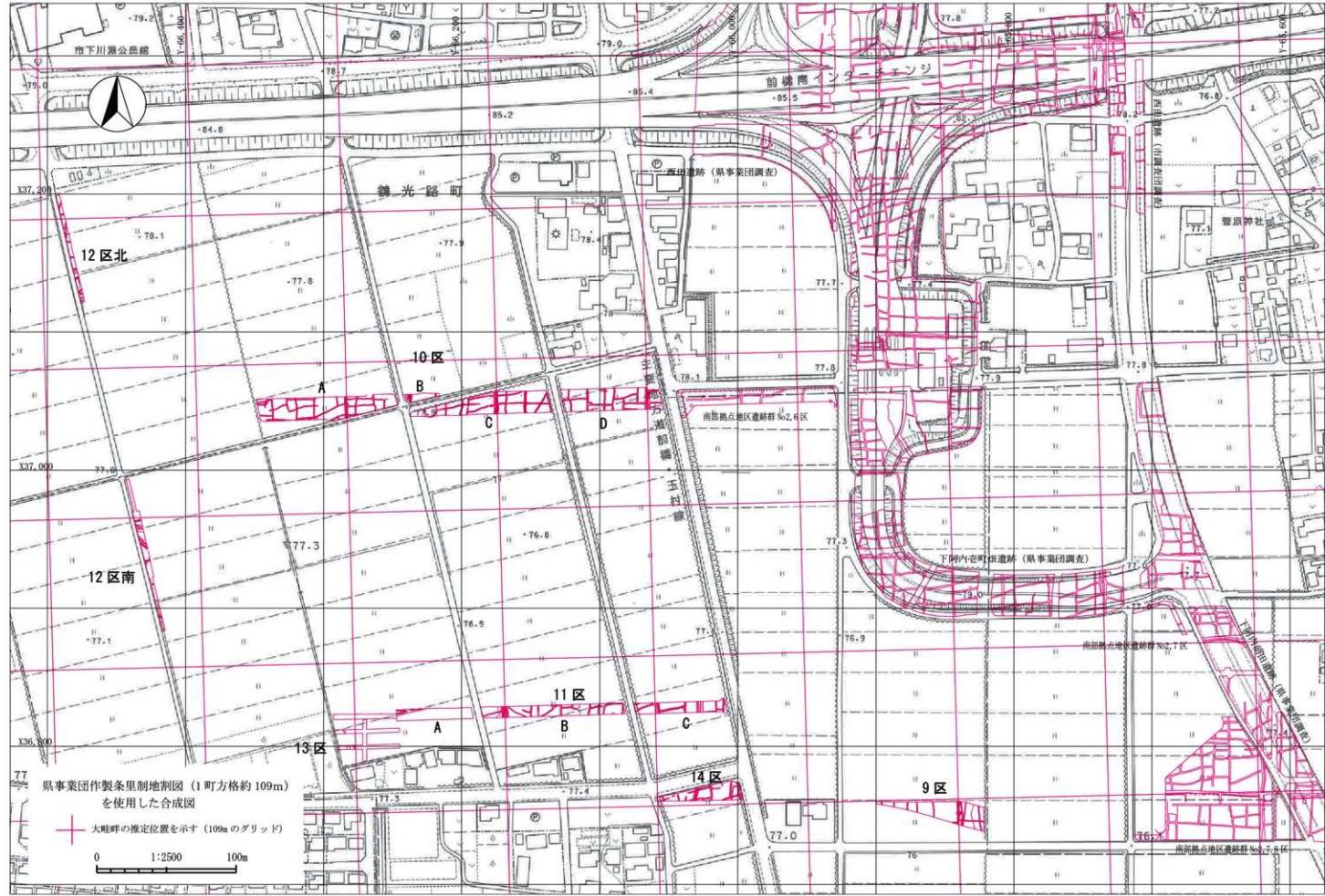
これらの状況を本遺跡や南部拠点地区遺跡群No 2 の大畦畔検出位置と県調査の大畦畔検出発掘成果図等にいれて示すと、第16図水田と条里制地割図の様な結果となった。

2 畦畔上の石について

9区で2ヵ所、10区で6ヵ所、14区3ヵ所の1面で、計11個の石を検出した。その中で畦畔上の置き石は7個で、1個は（No 3）大畦畔上で検出した。また、水田面からは、4個（No 1、4、他2点）の検出があった。それらの状況は、畦畔の交差部分でなく畦畔の端に位置し、大畦畔でも同様であった。規模は長さ12.0cm～25.2cm、幅7.0cm～16.6cm、重さ920g～4,200gを測り、形状は楕円や不定形で石材は、安山岩や剥離した結晶片岩等である。また、置き石の目的を推測すると、目標的な意味合いが考えられ、区画の境を決めるなどに使用した石と思われ、耕作地の所有関係を明示するなどの目的が考えられる。本調査区では、畦畔交差部からの検出はなく、状況のみの報告とする。

参考文献

西田遺跡	1996	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
宮地中田遺跡	1997	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田II遺跡	1998	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田III遺跡	1999	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田IV遺跡	1999	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
鶴光路練引遺跡	1997	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
下阿内町畠道遺跡	2001	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
下阿内前田遺跡	2001	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
村中遺跡	2002	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
西田遺跡	2002	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
南部拠点地区遺跡群No 2	2009	前橋市埋蔵文化財発掘調査



第16図 水田と条里制地割図

図版 1



調査前全景（北西から）



調査前全景（西から）



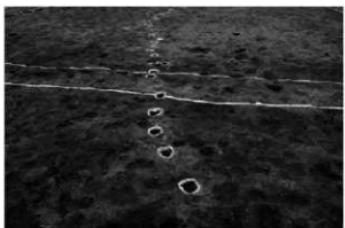
9区 1面B水田全景（空撮）



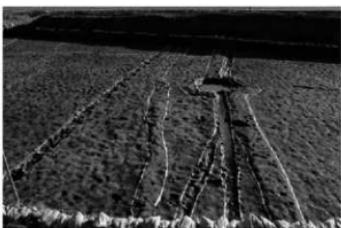
9区 1面B水田全景（東から）



9区 1面畦畔上の石



9区 1面馬の足跡列（南から）



9区 1面 W-1~3、焼夷弾跡、大陸群全景（北から）

図版2



9区2面W-1全景（北から）



9区2面1トレンチ全景（西から）



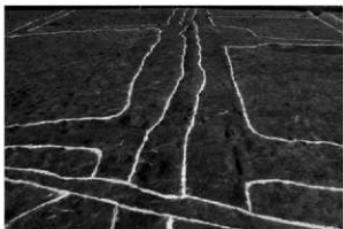
10区A1面B水田全景（空撮）



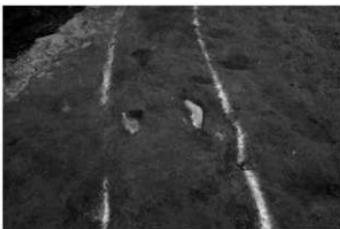
10区A1面B水田全景（西から）



10区A1面B水田全景（東から）



10区A1面大畦畔全景（南から）



10区A1面畦畔上の石

図版 3



10区A 1面 W-4・5 全景（西から）



10区A 2面2 トレンチP-5～10全景（西から）



10区A 2面2 トレンチ全景（西から）



10区B 1面B 水田全景（西から）



10区B 1面 W-6～8 全景（南から）



10区B 2面3 トレンチ全景（西から）



10区B・C 1面B 水田全景（空撮）

図版4



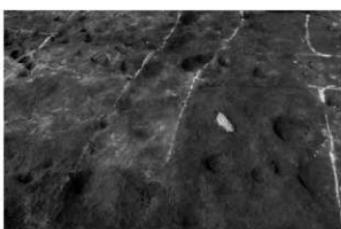
10区C 1面B 水田全景（西から）



10区C 1面B 水田全景（東から）



10区C 1面大畦畔全景（南から）



10区C 1面大畦畔上の石全景（東から）



10区C 1面 W-14, ピット全景（南から）



10区C 2面4 トレンチ全景（東から）



10区D 1面全景（空撮）

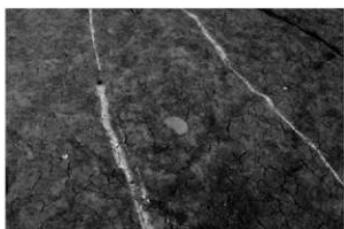
図版 5



10区D 1面B 水田全景（西から）



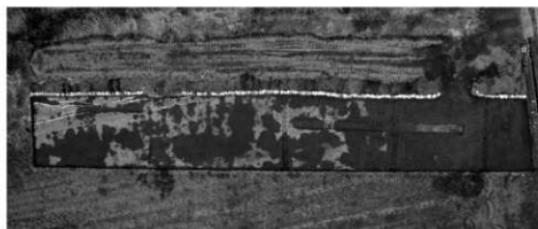
10区D 1面 W-18、19、大畦畔全景（南から）



10区D 1面畦畔上の石全景（西から）



10区D 1面水口全景（南から）



11区A 1面B 水田全景（空撮）

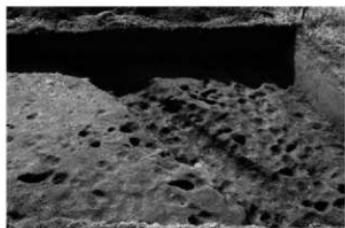


11区A 1面 W-1、畦畔全景（西から）

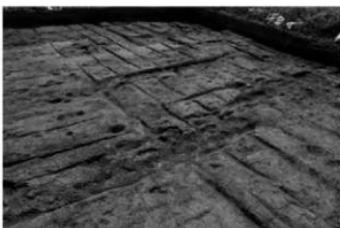


11区A 2面5 トレンチ全景（東から）

図版6



11区A 2面5トレンチ W-11全景（北から）



11区B 1面カクラン状況全景（北から）



11区B 1面B水田全景（空撮）



11区B 1面B水田全景（東から）



11区B 1面 W-2、大畦畔全景（北から）



11区B 1面水口No.1全景（南から）



11区B 1面 W-2～5全景（北から）

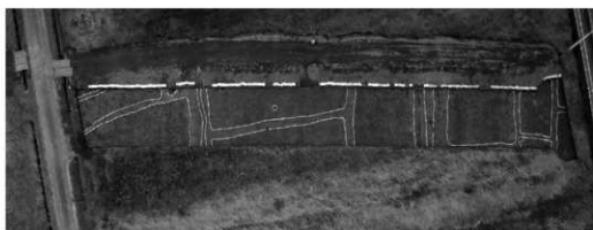
図版 7



11区B 1面 W-6 全景（北西から）



11区B 2面6 トレンチ全景（西から）



11区C 1面B 水田全景（空撮）



11区C 1面B 水田全景（西から）



11区C 1面B 水田全景（東から）

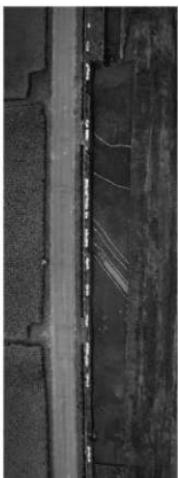


11区C 1面大畦畔全景（北から）



11区C 2面7 トレンチ全景（東から）

図版8



12区1面全景（空撮）



12区1面全景（北から）



12区1面凹凸状況全景（北西から）



12区1面W—2、3全景（東から）



12区1面谷地状の落ち込み全景（西から）



12区1面8トレンチ全景（北から）



12区1面8トレンチ全景（南から）

図版 9



12区2面8トレンチ全景（南から）



12区2面9トレンチ落ち込みセクション全景（南から）



12区2面9トレンチ全景（北から）



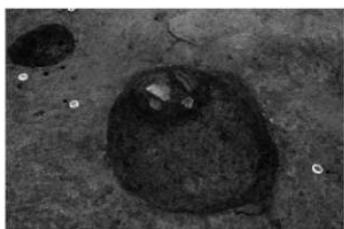
12区2面9トレンチD-1、2、P-4、6全景（南から）



12区2面9トレンチD-1遺物出土状況全景



12区2面9トレンチD-2遺物出土状況全景



12区2面9トレンチP-4遺物出土状況全景



13区2面11トレンチ全景（北から）

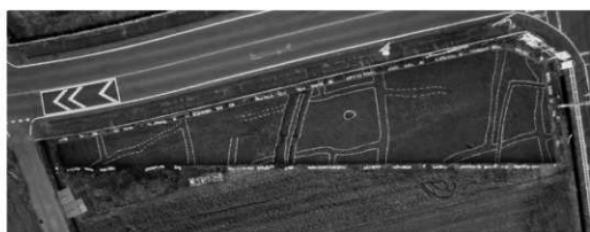
図版 10



13区2面12トレ全景（東から）



13区2面13トレ全景（東から）



14区1面B水田全景（空撮）



14区1面B水田全景（西から）



14区1面B水田全景（東から）



14区1面W-2、3全景（北から）



14区2面14トレ全景（東から）

図版 11



深掘りセクション（10区A）



作業風景（10区A）



調査区埋め戻し状況II区A（東から）



1



2



3



4



5



6

9区、10区出土遺物

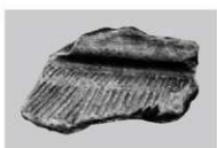
図版12



7



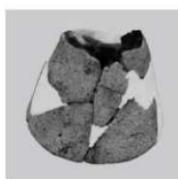
8



9



10



11



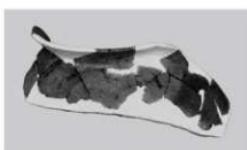
12



13



14



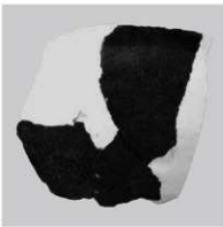
15



16



17



18

10区～12区、14区出土遺物

抄 錄

フリガナ	ナンブキヨテンチクイセキグンナンバー 3
書名	南部 拠点 地区 遺跡 群 No. 3
副書名	前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.3
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	神宮 聰 (前橋市埋蔵文化財発掘調査団) 荻野 博巳・金子 正人 (スナガ環境測設株式会社)
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371-0018 群馬県前橋市三保町二丁目10-2
発行年月日	西暦2010年3月19日

フリガナ 所取遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
南部 拠点 地区 道跡群 No. 3	前橋市鶴光路 町12-2ほか	10201	21G 65	36°19'53"	139°05'45"	20090721 ～ 20100319	10,140m ²	前橋市南部拠 点東地区土地 区画整理事業

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
南部 拠点 地区 道跡群 No. 3	水田跡	古墳時代 平安時代 中・近世 近代	土坑2基、ピット18基、溝4条 As-B下水田 溝15条、 土坑1基、ピット3基 土坑1基、ピット42基、 溝30条 焼夷弾跡1ヶ所	土器 土器片、須恵器片、石、 陶器、磁器片 As-B下水田 大畦畔	

前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.3

南部拠点地区遺跡群No.3 (21G 65)

2010年3月12日 印刷

2010年3月19日 発行

発行 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三保町二丁目10-2
TEL 027-231-9531

編集 スナガ環境測設株式会社
印刷 朝日印刷工業株式会社